

一般社団法人日本旅行業協会
一般社団法人全国旅行業協会
一般社団法人日本海外ツアーオペレーター協会
一般社団法人日本添乗サービス協会 御中

気候関連開示プロトタイプの周知・意見収集について

経済産業省経済産業政策局企業会計室
観光庁参事官（旅行振興）

サステナビリティ情報開示の重要性の国際的な高まりを踏まえ、2021年11月のCOP26と合わせて、国際会計基準（IFRS）を策定するIFRS財団に国際サステナビリティ基準審議会（ISSB）が新たに設立されました。

設立と同時にISSBへの技術的助言を行う目的で設立されたTechnical Readiness Working Group（TRWG）から、気候関連開示プロトタイプ（基準の原型）等が公表されています。

気候関連開示のプロトタイプは、TCFD提言の4つの基礎項目（「ガバナンス」、「戦略」、「リスク管理」、「指標と目標」）を中心に構成されていますが、「指標と目標」では、業種横断指標と業種別指標（別冊補足資料）等が求められており、業種別指標は、68業種ごとの詳細な指標の開示が提案されています。

今後、ISSBにおいて、気候関連開示プロトタイプをアップデートする形で2022年第1四半期を目途に基準の公開草案が公表され、パブリックコメントを経て、早ければ2022年6月にも基準化することが見込まれています。

貴協会においては、傘下会員に向けて、本件を周知頂くとともに、気候関連開示プロトタイプ及び気候関連開示プロトタイプ補足資料（貴団体と関係する業種別指標）をご覧になって、お気づきの点、懸念点がある場合は弊庁にお寄せ頂けないでしょうか。頂いたご意見は、経済産業省の企業会計室が運営する「非財務情報の開示指針研究会」における検討やISSBに対する意見発信等にご活用させて頂く予定です。ご協力のほど、どうぞよろしくお願いいたします。

<IFRS財団からの公表物>

・気候関連開示プロトタイプ

<https://www.ifrs.org/content/dam/ifrs/groups/trwg/trwg-climate-related-disclosures-prototype.pdf>

<気候関連開示プロトタイプ補足（業種別指標）>

<https://www.ifrs.org/content/dam/ifrs/groups/trwg/climate-related-disclosures-prototype-technical-protocols-supplement.pdf>

以上

気候関連開示プロトタイプに関するご意見

貴団体名： _____

1. 気候関連開示プロトタイプ

<https://www.ifrs.org/content/dam/ifrs/groups/trwg/trwg-climate-related-disclosures-prototype.pdf>

頁・パラグラフ	ご意見

※ 必要に応じて適宜、行を追加下さい。

2. 気候関連開示プロトタイプ (補足資料・業種別指標)

<https://www.ifrs.org/content/dam/ifrs/groups/trwg/climate-related-disclosures-prototype-technical-protocols-supplement.pdf>

業種：

頁・パラグラフ	ご意見

業種：

頁・パラグラフ	ご意見

※ 必要に応じて適宜、追加下さい。

3. その他ご意見

--

以上

気候関連の国際開示基準への対応について

2022年2月

経済産業政策局 企業会計室

サステナビリティ情報の開示基準を巡る動き

- 2021年11月、COP26において、IFRS財団が国際的なサステナビリティ情報の開示基準の検討を進める「国際サステナビリティ基準審議会（ISSB）」の設置を表明。
- 同時に、今後検討を進めるサステナビリティ情報の開示プロトタイプを公表。
- IFRS財団のこの取組はG20でも歓迎されている。

2021年11月にIFRS財団が公表した内容

1. **国際サステナビリティ基準審議会（ISSB：International Sustainability Standards Board）の組成**
2. IFRS財団・CDSB・VRFが2022年6月までに組織統合を実施
3. **気候関連開示プロトタイプ及びサステナビリティ関連財務情報の全般的な開示プロトタイプの公表（→スライドP.4）**

動きを歓迎

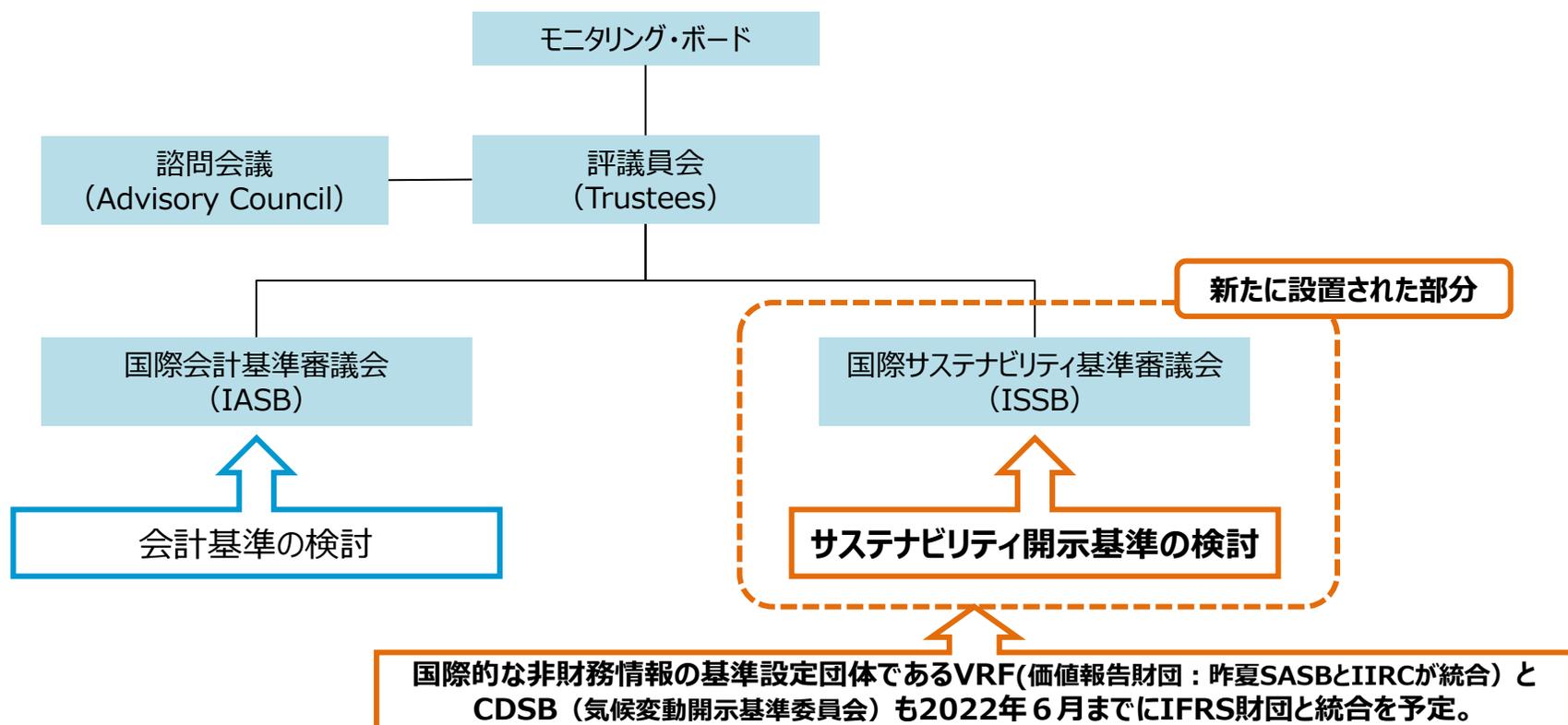
G20 サステナブルファイナンス・ロードマップ（2021年10月7日公表）（抜粋）

<重点領域2：持続可能性に関するリスク、機会及び影響に関する一貫した、比較可能で意思決定に役立つ情報>

行動6：**G20は、企業価値創造に関するサステナビリティ関連情報の開示のための国際的に一貫した、比較可能で信頼性の高いベースライン基準を策定するIFRS財団の作業プログラムを歓迎する。**これらの基準は、TCFDの枠組みに基づき、幅広いステークホルダーと協議しながら他のサステナビリティ報告組織の作業を考慮したものであるべきである。

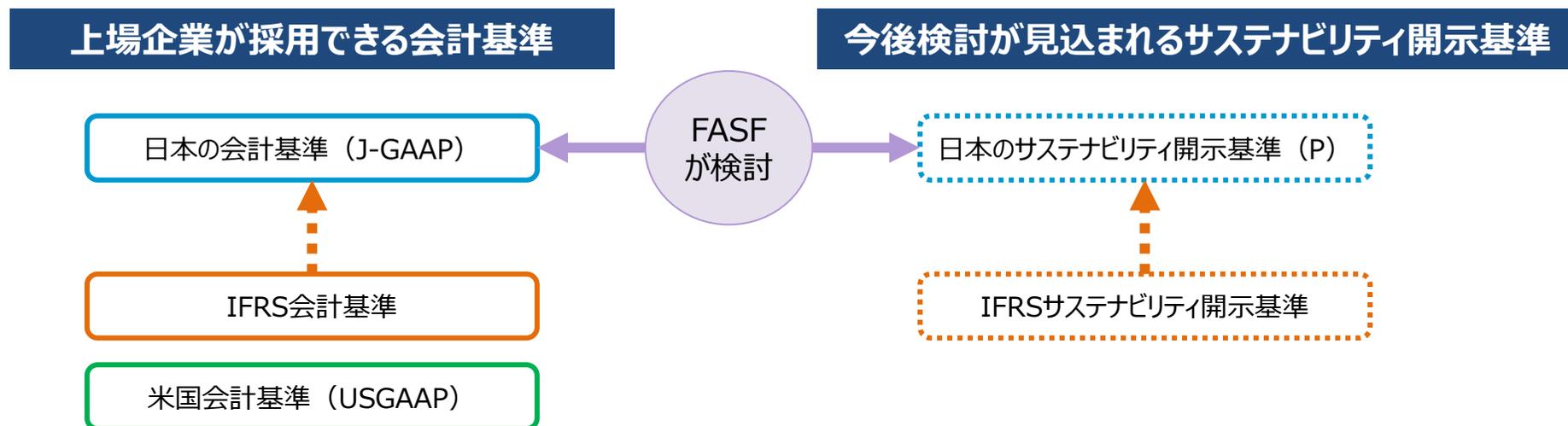
IFRS財団の概要とISSBの関係

- IFRS財団は、2001年に設立された国際的な会計基準を設定する非営利組織。
- IFRS財団の運営方針等を検討し、傘下の審議会を監督する「評議員会（Trustee）」と、財務報告のための基準（会計基準）の開発・改訂を検討する「国際会計基準審議会（IASB）」、評議員会に助言を行う「諮問会議（Advisory Council）」等により構成。
- 今回、設置を表明した国際サステナビリティ基準審議会（ISSB）について、IFRS財団はIASBと並列の形での設置を表明。



IFRS財団の基準と日本の基準の関係

- 日本の会計基準は、民間の非営利組織である「財務会計基準機構（FASF）」が検討している。IFRS財団のISSB設置を受けて、国内におけるサステナビリティ基準の検討組織（SSBJ）の設置を表明している。
- 上場企業は財務諸表（決算書）を作成する際、FASFによる日本の会計基準、IFRS財団によるIFRS会計基準等から選択可能。なお、日本の会計基準もIFRS会計基準の考え方を取り込む改訂を進めてきており、現在は多くの会計基準で同一の考え方が採用されている。
- 現在、金融審議会ディスクロージャーWGにおいて、有価証券報告書におけるサステナビリティ関連情報の記載の在り方について検討がなされており、今後金融審議会及びSSBJにおいて更に具体的な開示内容の検討が進むことが見込まれる。



ISSBによる開示プロトタイプ^oの全体像

- IFRS財団が2021年11月に公表したサステナビリティ基準のプロトタイプは、TCFD提言（気候関連財務情報開示タスクフォース提言）を基礎として、テーマ毎、業種毎に詳細な開示項目を定める枠組みとなっている。
- IFRS財団はこれらのプロトタイプについて、意見募集を実施したうえで基準として最終化する方針を示している。

公表されたプロトタイプ^oの全体像

表示基準（全般的な要求事項）

- 全ての重要なサステナビリティ論点について、“何の”情報を、“どのように”開示するか、全般的に定めたもの

サステナビリティ関連
財務情報の全般的な
開示プロトタイプ^o

テーマ別基準

- 「気候」「水」「生物多様性」のように、サステナビリティに関する論点について、開示を求める内容を定めたもの
- 気候についてまず、実施する
（詳細なプロトタイプを開示）

業種基準

- 「化学」「製鉄」「電力」のように、業種毎に重要な論点について、詳細な開示内容を定めたもの
- 68の業種毎に、サステナビリティ論点毎に詳細な開示内容を規定（600ページ弱の別冊資料あり）

気候関連開示
プロトタイプ^o

気候関連プロトタイプ^①の業種別開示事項の例

- 以下は、気候関連開示プロトタイプで示された、「鉄鋼業」で求められる開示事項（仮訳）。

気候関連の開示項目と会計指標

トピック	会計指標	カテゴリー	測定単位	コード
温室効果ガスの排出	世界全体のScope 1 排出量 排出量制限規制の対象となる割合	定量的	トン (t) CO ₂ 排出量割合 (%)	EM-IS-110a.1
	Scope 1 排出量の排出量を管理するための長期的および短期的な戦略または計画、 排出量削減目標、およびそれらの目標に対するパフォーマンスの分析についての議論	議論及び分析	n/a	EM-IS-110a.2
エネルギー管理	(1)総電力消費量、(2)系統電力の割合、(3)再生可能エネルギーの割合	定量的	ギガジュール(GJ) 割合 (%)	EM-IS-130a.1
	(1)総燃料消費量、(2)石炭の割合、(3)天然ガスの割合、(4)再生可能エネルギーの割合	定量的	ギガジュール(GJ) 割合 (%)	EM-IS-130a.2
水管理	(1)淡水の総取水量、(2)リサイクル率、(3)ベースライン水ストレスが高い、または極めて高い地域にある割合	定量的	1,000立方メートル(m ³) 割合 (%)	EM-IS-140a.1
サプライチェーン管理	環境・社会問題に起因する鉄鉱石や原料炭の調達リスクを管理するためのプロセスについての議論	議論及び分析	n/a	EM-IS-430a.1

活動指標

活動指標	カテゴリー	測定単位	コード
プロセス別粗鋼生産量、割合：(1)基礎的酸素炉プロセス、(2)電気アーク炉プロセス	定量的	トン (t) CO ₂ 排出量割合 (%)	EM-IS-000.A
鉄鉱石生産量（内部消費、外販用含む）	定量的	トン (t)	EM-IS-000.B
原料炭生産量（内部消費、外販用含む）	定量的	ギガジュール(GJ) 割合 (%)	EM-IS-000.C

今後のタイムライン

- IFRS財団に対する影響力を持つIOSCO（証券監督者国際機構）は2021年6月に公表した「企業のサステナビリティ開示に関する最終報告書」において、ISSBによる気候変動に関するサステナビリティ基準の最終化の時間軸を2022年6月と示している。
- FSB（金融安定理事会）も同様の時間軸を提示をしており、今後の目安になると思われる。

IOSCO「企業のサステナビリティ開示に関する最終報告書」における基準検討のタイムライン

時期	予定
2022年第1四半期	<ul style="list-style-type: none">● 気候変動に関する基準の公開草案公表● 気候以外に優先される論点（※）についてのアジェンダコンサルテーションの実施
2022年6月（P）	<ul style="list-style-type: none">● 気候変動に関する基準の最終化

※IFRS財団が公表した「サステナビリティ関連財務情報の全般的な開示プロトタイプ」における、「サステナビリティ関連財務情報」の定義では、気候変動の他に、水資源、生物多様性、従業員（人的資本）、人権をあげている。

気候関連開示プロトタイプ

2022年2月

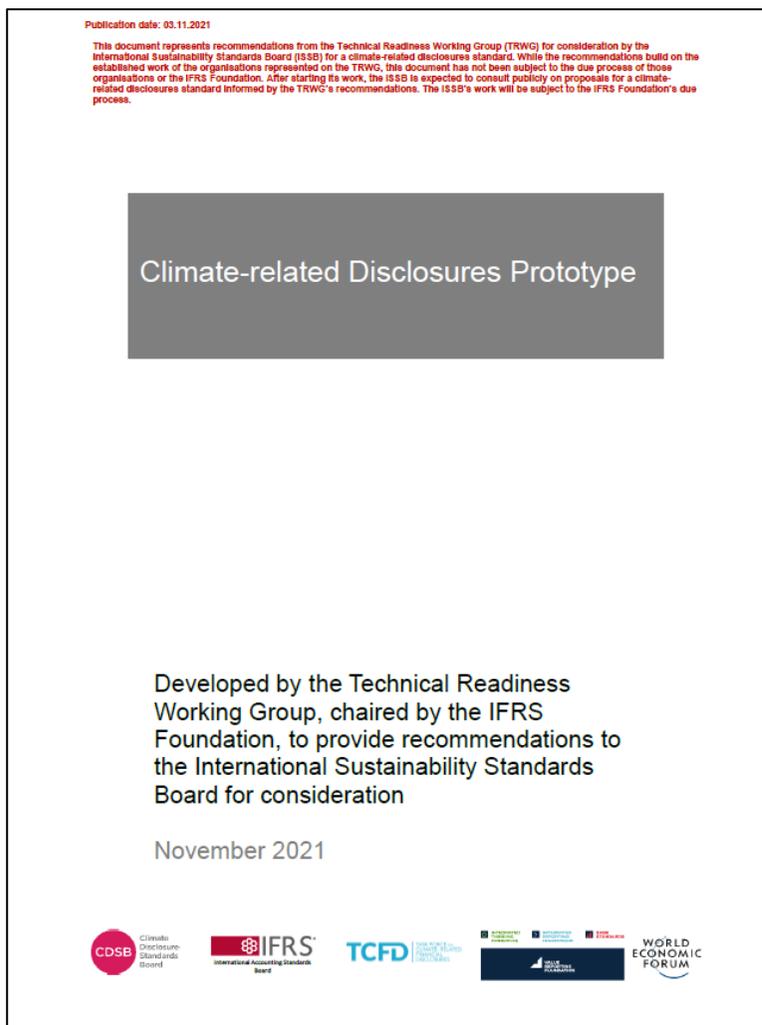
経済産業省 経済産業政策局

産業資金課・企業会計室

(注) 本資料はIFRS財団が公表している「気候関連開示基準プロトタイプ」を企業会計室で仮訳したもので、IFRS財団の公式資料ではありません。

このため、本資料の利用にあたっては、必ず原典にあたり内容の確認を行っていただくと幸いです。

気候関連開示プロトタイプ (Climate-related Disclosures Prototype)



目次

目的

範囲

ガバナンス

戦略

リスク管理

指標と目標

効力発生日

付属

A) 定義

B) 業種別開示要件

気候関連開示プロトタイプ：目的と範囲

気候関連開示プロトタイプ

【目的】

1. 本開示要求の目的は、気候関連のリスクと機会へのエクスポージャーに関する情報を開示するよう企業に要求することであり、それにより、
 - (a) 企業の一般目的財務報告の利用者は、気候関連リスクと機会が企業の財務状態、業績及びキャッシュフローに与える影響を判断することが可能になる。また、利用者が短・中・長期にわたる企業の将来キャッシュフローとその価値、時期及び確実性について評価することを支援し、それにより、利用者による企業価値評価を支援する。
 - (b) 企業の一般目的財務報告の利用者は、経営者による資源の利用、それに伴うインプット、活動、アウトプット、及びアウトカムが、企業による気候関連リスクと機会への対応とそれらの管理戦略をどのように支えているかについて、理解が可能になる。
 - (c) 企業の一般目的財務報告の利用者は、企業がその計画・ビジネスモデル・経営を気候関連リスクと機会に適応させる能力を評価することが可能になる。
2. 企業は、「IFRSサステナビリティ開示基準：サステナビリティ関連財務情報開示に関する一般要求事項」に従って気候関連開示を作成開示する際に、本基準（案）を適用しなければならない。

【範囲】

3. 本基準は以下に適用される。
 - (a) 企業がさらされる気候関連リスク（以下を含むが、以下に限定されない）
 - (i) 気候変動による物理的リスク（物理的リスク）
 - (ii) 低炭素経済への移行に伴うリスク（移行リスク）
 - (b) 企業が利用可能であり、企業が考慮した気候関連の機会

気候関連開示プロトタイプ：ガバナンス（1）

気候関連開示プロトタイプ	TCFD提言（参考）
<p>4. 企業は、一般目的財務報告の利用者が、気候関連リスクと機会を監視・管理するために用いられるガバナンス・プロセス、統制及び手続きを理解できるような情報を開示しなければならない。</p> <p>この目的を達成するために、企業は、気候関連のリスクと機会を監督するガバナンス機関（取締役会、委員会、又はガバナンスを担う同等の機関を含みうる）と、気候関連のリスクと機会に関する経営者の役割について、説明を開示しなければならない。以下を含む。</p> <p>(a) 気候関連のリスクと機会に責任を負う機関又は機関内の個人</p> <p>(b) 気候関連のリスクと機会に関するその機関の責任が、付託条項、取締役会の権限及びその他の関連組織の方針にどのように反映されているか</p> <p>(c) 気候関連のリスクと機会への対応を目的とした戦略を監督するために、適切なスキルと能力をどのように確保するか</p> <p>(d) その機関及びその委員会（監査委員会、リスク委員会又はその他の委員会）が、気候関連事項及び関連する気候関連のリスクと機会について情報を得るプロセスと頻度</p> <p>(e) 企業の戦略、主要取引の決定、及びリスク管理方針を監督する際、その機関とその委員会が気候関連のリスクと機会をどのように考慮するか（トレードオフの評価と不確実性に対する感度の分析を含む）</p> <p>(f) その機関が、気候関連目標の設定をどのように監督し、目標に向けた進捗状況をどのように監視しているか（関連業績指標が報酬方針に組み込まれているか、及びその方法を含む）</p>	<p>a) 気候関連のリスク及び機会についての、取締役会による監視体制を説明する。</p> <ul style="list-style-type: none">● 気候関連問題に関する取締役会の監視体制を説明するに際して、組織は以下の事項に関する詳解を含めて検討する必要がある。● 気候関連問題について、取締役会及び/またはその委員会（監査、リスクその他の委員会など）が報告を受けるプロセスと頻度。● 取締役会及び/またはその委員会が、戦略、主な行動計画、リスク管理政策、年度予算、事業計画をレビューし指導する際、また当該組織のパフォーマンス目標を設定する際、及び実行やパフォーマンスをモニターする際、更に主な資本支出、買収、資産譲渡を監督する際、気候関連問題を考慮しているか否か。● 取締役会が、気候関連問題に対する取組のゴールと目標への進捗状況を、どのようにモニターし監督するか。

気候関連開示プロトタイプ：ガバナンス（２）

気候関連開示プロトタイプ	TCFD提言（参考）
<p>～つづき～</p> <p>(g) 気候関連のリスクと機会の評価と管理における経営者の役割（例えば、気候関連の責任が特定の経営者レベルの役職や委員会に割り当てられているかどうか、また、気候関連のリスクと機会を異なる社内機能間で検討・調整する方法を含む、気候関連事項を監視するために経営者が適切な管理を行っているかどうか）、及びその役割にある経営者を組織がどのように監督するかについての説明</p>	<p>～つづき～</p> <p>b) 気候関連のリスク及び機会を評価・管理する上での経営者の役割を説明する。</p> <ul style="list-style-type: none">● 気候関連問題に関する評価・管理における経営者の役割を説明するに際して、組織は以下の事項に関する情報を含めて検討する必要がある。● 組織が、管理職または委員会に対して気候関連の責任を付与しているか、付与している場合は当該管理職または委員会が取締役会またはその委員会に報告しているか、さらにそれらの責任には気候関連問題の評価や管理が包含されているか。● 当該組織における（気候）関連の組織的構造の説明。● 経営者が気候関連問題に関する情報を受けるプロセス。● 経営者がどのように（特定の担当及び/または経営委員会を通じて）気候関連問題をモニターするか。

気候関連開示プロトタイプ：戦略（1）

気候関連開示プロトタイプ	TCFD提言（参考）
<p>5. 企業は、一般目的財務報告の利用者が、気候関連のリスクと機会に対処するための戦略を理解することを可能にする情報（企業の評価を含む）を開示しなければならない。</p> <p>(a)短・中・長期にわたりビジネスモデル、戦略及びキャッシュフローに影響を及ぼす可能性がある重大な気候関連のリスクと機会（パラグラフ6参照）</p> <p>(b)重大な気候関連のリスクと機会がビジネスモデルに与える影響（パラグラフ7参照）</p> <p>(c)重大な気候関連のリスクと機会が経営陣の戦略と意思決定に与える影響（パラグラフ8参照）</p> <p>(d)重大な気候関連のリスクと機会が報告期間末の財務状態、業績、キャッシュフローに及ぼす影響、及び短・中・長期にわたって予想される影響（パラグラフ9参照）</p> <p>(e)気候変動の物理的影響及び低炭素経済への移行に関連する重大な気候関連リスクに対する企業戦略のレジリエンス(パラグラフ10参照)</p>	

気候関連開示プロトタイプ：戦略（2）

気候関連開示プロトタイプ	TCFD提言（参考）
<p>6. 企業は、一般目的財務報告の利用者が、短・中・長期にわたって企業のビジネスモデル、戦略及びキャッシュフローに影響を与えることが合理的に予想される、重大な気候関連のリスクと機会を理解できるような情報を開示しなければならない。具体的には、以下の情報を開示しなければならない。</p> <p>(a) ビジネスモデル、戦略、キャッシュフローにプラスまたはマイナスの影響を与える可能性がある合理的に予想される気候関連のリスクと機会を特定するために実施されているプロセスの説明。</p> <p>(b) 短・中・長期をどのように定義するか、及びその定義が企業の戦略的計画の範囲及び資本配分計画にどのように繋がっているか</p> <p>(c) 重大な気候関連のリスク又は機会、及びそれらが企業に財務的影響を及ぼすと合理的に予想される期間の説明。</p> <p>(d) 特定されたリスクは物理的リスクか、移行リスクか（例えば、サイクロンや洪水のような異常気象の深刻さの増大のような急性の物理的リスクや、海面上昇や平均気温の上昇を含む慢性の物理的リスクが考えられる。移行リスクには、規制上、技術上、市場上、法律上または風評上のリスクが含まれる。）</p>	<p>a) 組織が識別した、短期・中期・長期の気候関連のリスク及び機会を説明する</p> <p>組織は以下の事項に関する情報を提供する必要がある。</p> <ul style="list-style-type: none"> 組織の資産もしくはインフラの耐用年数、及び気候関連問題はしばしば中長期に現れるという事実を考慮して、当該組織が短期・中期・長期の視野でどのような検討を行っているか説明する。 それぞれの時間的範囲（短期・中期・長期）において、財務上の重要な影響を組織に与える気候関連の具体的な課題を説明する。 組織に重要な財務的影響を与えるリスク及び機会を特定するプロセスを説明する。 <p>組織は必要に応じて、セクター及び / または地域（geography）ごとに、それらのリスク及び機会を説明することを検討する必要がある。気候関連問題を説明する際には、表1、表2を参照する。</p>

気候関連開示プロトタイプ：戦略（3）

気候関連開示プロトタイプ	TCFD提言（参考）
<p>7. 企業は、一般目的財務報告の利用者が、そのビジネスモデルに対して重大な気候関連のリスクと機会が与える影響の評価を理解することを可能にする情報を開示しなければならない。具体的には、以下の情報を開示しなければならない。</p> <p>(a) 製品の製造またはサービスのためのバリューチェーン（例：サプライチェーン、オペレーション、労働力、マーケティング及び流通チャネル）に対して重大な気候関連のリスクと機会が与える現在の影響及び予想される影響の説明</p> <p>(b) バリューチェーンのどこに、重大な気候関連のリスクと機会が集中しているか（例：地理的地域、施設又は資産の種類、調達、販売、流通チャネル）。</p>	<p>b) 気候関連のリスク及び機会が組織のビジネス・戦略・財務計画に及ぼす影響を説明する</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 推奨される開示（a）に基づき、組織は識別された気候関連問題が、彼らの事業、戦略、財務計画にどのように悪影響を与えたかについて説明する必要がある。 ● 組織は以下の分野におけるビジネスと戦略に対する影響などを検討する必要がある。 <ul style="list-style-type: none"> • 製品とサービス • サプライチェーン及び／またはバリューチェーン • 適応活動と緩和活動 • 研究開発に対する投資 • 操業（操業のタイプと設備の設置場所など） ● 組織は、気候関連問題が財務計画立案プロセスへのインプットとしてどのように役立つか、対象とする期間、及びこれらのリスク及び機会にどのように優先順位をつけたか、説明する必要がある。組織の情報開示は、組織が価値を生み出す能力に長期的に悪影響を与える要因同士がどのように相互依存しているかの全体像を映すものである必要がある。また、組織は以下の分野について、財務計画に与える影響を開示情報に含めることを検討する必要がある。 <ul style="list-style-type: none"> • 操業コストと収入 • 資本支出と資本配分 • 買収または投資引揚げ • 資本へのアクセス ● もし、組織の戦略及び財務計画に気候関連シナリオの情報が利用されている場合は、そのシナリオの説明をする必要がある。

気候関連開示プロトタイプ：戦略（４）

気候関連開示プロトタイプ	TCFD提言（参考）
<p>8. 企業は、一般目的財務報告の利用者が、重大な気候関連のリスクと機会が経営陣の戦略及び意思決定（移行計画を含む）に与える影響の評価を理解できるような情報を開示しなければならない。具体的には、企業は以下の情報を開示しなければならない。</p> <p>(a) 重大な気候関連のリスクと機会（以下を含む）への対応方法</p> <ol style="list-style-type: none"> i. 設定した気候関連目標をどのように達成するか（計画実施のための資金調達、目標の見直しプロセス、目標達成のためのカーボンオフセット利用の前提条件（オフセットの最低品質又は認証の閾値を含む） ii. 気候関連リスクの緩和・適応又は機会に関連した研究開発戦略をどのように進めているか iii. 新技術を採用しているか iv. 実施している直接的な適応・緩和策（例：労働力、原材料や製品仕様の変更、効率化策の導入） v. 実施している間接的な適応・緩和策（例：顧客やサプライチェーン企業との協働、認証スキーム（木材やパーム油などの商品のサステナビリティについて認証を行う国際的に認められた制度）の活用など） vi. 気候関連リスクの緩和の取組がオフセット戦略に依存する度合い、及びオフセット戦略の選択に影響を与える要因 	<p>【再掲】</p> <p>b) 気候関連のリスク及び機会が組織のビジネス・戦略・財務計画に及ぼす影響を説明する</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 推奨される開示（a）に基づき、組織は識別された気候関連問題が、彼らの事業、戦略、財務計画にどのように悪影響を与えたかについて説明する必要がある。 ● 組織は以下の分野におけるビジネスと戦略に対する影響などを検討する必要がある。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 製品とサービス ・ サプライチェーン及び／またはバリューチェーン ・ 適応活動と緩和活動 ・ 研究開発に対する投資 ・ 操業（操業のタイプと設備の設置場所など） ● 組織は、気候関連問題が財務計画立案プロセスへのインプットとしてどのように役立つか、対象とする期間、及びこれらのリスク及び機会にどのように優先順位をつけたか、説明する必要がある。組織の情報開示は、組織が価値を生み出す能力に長期的に悪影響を与える要因同士がどのように相互依存しているかの全体像を映すものである必要がある。また、組織は以下の分野について、財務計画に与える影響を開示情報に含めることを検討する必要がある。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 操業コストと収入 ・ 資本支出と資本配分 ・ 買収または投資引揚げ ・ 資本へのアクセス ● もし、組織の戦略及び財務計画に気候関連シナリオの情報が利用されている場合は、そのシナリオの説明をする必要がある。

気候関連開示プロトタイプ：戦略（5）

気候関連開示プロトタイプ	TCFD提言（参考）
<p>～つづき～</p> <p>(b) レガシー資産に関する計画と重要な前提条件は、炭素やエネルギー、水を大量に消費する事業を管理するための戦略と、炭素やエネルギー、水を大量に消費する資産を廃止するための戦略を含む</p> <p>(c) 第8項(a)及び第8項(b)に従って過去に開示された計画の進捗状況に関する定量的及び定性的な情報</p> <p>(d) 重要な気候関連のリスクと機会が、企業の財務計画の意思決定にどのように含まれているか（例えば、投資決定や資金調達に関連して）</p>	<p>【再掲】</p> <p>b) 気候関連のリスク及び機会が組織のビジネス・戦略・財務計画に及ぼす影響を説明する</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 推奨される開示（a）に基づき、組織は識別された気候関連問題が、彼らの事業、戦略、財務計画にどのように悪影響を与えたかについて説明する必要がある。 ● 組織は以下の分野におけるビジネスと戦略に対する影響などを検討する必要がある。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 製品とサービス ・ サプライチェーン及び／またはバリューチェーン ・ 適応活動と緩和活動 ・ 研究開発に対する投資 ・ 操業（操業のタイプと設備の設置場所など） ● 組織は、気候関連問題が財務計画立案プロセスへのインプットとしてどのように役立つか、対象とする期間、及びこれらのリスク及び機会にどのように優先順位をつけたか、説明する必要がある。組織の情報開示は、組織が価値を生み出す能力に長期的に悪影響を与える要因同士がどのように相互依存しているかの全体像を映すものである必要がある。また、組織は以下の分野について、財務計画に与える影響を開示情報に含めることを検討する必要がある。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 操業コストと収入 ・ 資本支出と資本配分 ・ 買収または投資引揚げ ・ 資本へのアクセス ● もし、組織の戦略及び財務計画に気候関連シナリオの情報が利用されている場合は、そのシナリオの説明をする必要がある。

気候関連開示プロトタイプ：戦略（6）

気候関連開示プロトタイプ	TCFD提言（参考）
<p>9. 企業は、一般目的財務報告の利用者が、企業の当期末における財務状態・業績・キャッシュフローに対して重大な気候関連のリスクと機会が与える影響及び短・中・長期にわたって予想される影響を理解できるような情報を開示しなければならない。具体的には、以下の項目について定性的かつ可能な場合には定量的に開示しなければならない。</p> <p>(a) 重大な気候関連のリスクと機会が、直近に報告された業績・財務状態・キャッシュフローにどのような影響を与えたか。</p> <p>(b) 経営者は、重大な気候関連のリスクと機会に対応する戦略に沿って、企業の財務状態が時間の経過とともにどのように変化すると予想しているか。</p> <p>(i) 企業の現在及び将来の資本配分計画と、それらが財務状態に与える影響(例：大型買収や売却、ジョイント・ベンチャー、事業転換、イノベーション、新規事業分野、資産除却)</p> <p>(ii) 戦略を実行するために計画された資金源</p> <p>(c) 経営者は、重大な気候関連のリスクと機会（例：パリ協定に整合した低炭素経済向けの製品・サービスの収益やコストの増加、気候イベントによる資産の物理的損害、気候変動への適応や緩和の総コスト）に対応する戦略を踏まえ、企業の業績が時間の経過とともにどのように変化すると予想しているか。</p> <p>(d) 重大な気候関連のリスクと機会に関する企業の評価が、財務諸表における判断や見積りへの不確実性の原因にどのような影響を与えたか。</p>	<p>【再掲】</p> <p>b) 気候関連のリスク及び機会が組織のビジネス・戦略・財務計画に及ぼす影響を説明する</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 推奨される開示（a）に基づき、組織は識別された気候関連問題が、彼らの事業、戦略、財務計画にどのように悪影響を与えたかについて説明する必要がある。 ● 組織は以下の分野におけるビジネスと戦略に対する影響などを検討する必要がある。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 製品とサービス ・ サプライチェーン及び／またはバリューチェーン ・ 適応活動と緩和活動 ・ 研究開発に対する投資 ・ 操業（操業のタイプと設備の設置場所など） ● 組織は、気候関連問題が財務計画立案プロセスへのインプットとしてどのように役立つか、対象とする期間、及びこれらのリスク及び機会にどのように優先順位をつけたか、説明する必要がある。組織の情報開示は、組織が価値を生み出す能力に長期的に悪影響を与える要因同士がどのように相互依存しているかの全体像を映すものである必要がある。また、組織は以下の分野について、財務計画に与える影響を開示情報に含めることを検討する必要がある。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 操業コストと収入 ・ 資本支出と資本配分 ・ 買収または投資引揚げ ・ 資本へのアクセス ● もし、組織の戦略及び財務計画に気候関連シナリオの情報が利用されている場合は、そのシナリオの説明をする必要がある。

気候関連開示プロトタイプ：戦略（7）

気候関連開示プロトタイプ	TCFD提言（参考）
<p>10. 企業は、気候関連の重大なリスク（物理的リスク及び移行リスク）に対する当該企業の戦略のレジリエンス分析を開示しなければならない。以下を含む。</p> <p>(a) 以下を含む分析の実施方法</p> <ul style="list-style-type: none"> i. 多様な気候関連シナリオを比較したか、パリ協定と統合的なシナリオ、及び気候関連の物理的リスクの増大と統合的なシナリオを使用したか ii. 評価に使用したシナリオと使用したシナリオの情報源（例：気候変動リスク等に係る金融当局ネットワーク（NGFS）ネットゼロ 2050シナリオ、国際エネルギー機関（IEA）ネットゼロ2050シナリオ、気候変動政府間パネル（IPCC）代表濃度経路（RCP）1.9 and 2.6） iii. 選択したシナリオが、気候関連リスクと機会に対する自社のレジリエンスを評価するのに適切であると企業が考える理由の説明 iv. 分析が行われた期間 v. シナリオ分析に用いた情報（リスクの範囲：物理的リスクの対象範囲、事業展開地域等） vi. 低炭素経済への移行が企業にどのような影響を与えるかについての経営者の仮定（企業が活動する地域の政策的仮定、マクロ経済の動向、エネルギー使用量とエネルギーミックス、技術的仮定を含む） <p>(b) 分析の結果と、以下を含む、企業の財務状態及び業績が、企業の短・中・長期にわたる戦略及びビジネスモデルのレジリエンスをどのように支えているかを示す評価</p> <ul style="list-style-type: none"> i. 気候変動による物理的な混乱や気象パターンの慢性的な変化が生じた場合に、資産や投資がどのように調整されるか、又は、再配分、廃止、修復、アップグレードに対して十分な柔軟性を備えているか ii. 現在または計画されている低炭素代替物への投資（および投資全体に占める割合）、労働力の再教育、気候変動の物理的影響に耐えられる資本の柔軟性の程度 	<p>c) 2℃以下シナリオを含む、さまざまな気候関連シナリオに基づく検討を踏まえて、組織の戦略のレジリエンスについて説明する</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 組織は、2℃以下シナリオに沿った低炭素経済への移行シナリオと、また当該組織にとって関連性がある場合は、物理的気候関連リスクの高まるシナリオを考慮し、その戦略が気候関連リスク及び機会に対してどれだけレジリエンスを有しているかについて記載すべきである。 ● 組織はまた、以下について論じることを検討すべきである。 <ul style="list-style-type: none"> • 気候関連のリスク及び機会によって組織の戦略が影響を受けると思われるのはどこであるか • そのような潜在的なリスク及び機会に対処するために、その組織の戦略がどのように変化しうるか • 検討される気候関連シナリオとその対象期間 <p>将来を見据えた分析へのシナリオ適用に関する情報は、セクションDを参照。</p>

気候関連開示プロトタイプ：リスク管理

気候関連開示プロトタイプ	TCFD提言（参考）
<p>11. 企業は、一般目的財務報告の利用者が、気候関連リスクがどのように特定、評価、管理、軽減されるかを理解できるような情報を開示しなければならない。この目的を達成するために、企業は次の事項を記述しなければならない。</p> <p>(a) 気候関連リスクの特定プロセス</p> <p>(b) 気候関連リスクの重要性を評価するプロセス（以下を含む）</p> <p>i. 当該リスクの可能性と影響をどのように判断するか（使用される定性的要因や定量的閾値など）</p> <p>ii. 他の種類のリスクと比較して、どのように気候関連リスクを優先するか（科学的根拠に基づくリスク評価ツール、その他の情報源の使用を含む）</p> <p>iii. どの重要な入力パラメータを使用するか（例えば、データ・ソース、対象業務の範囲、前提条件で使用される詳細レベルなど）</p> <p>iv. 以前の報告期間と比較して使用プロセスが変更されたかどうか</p> <p>(c) 重要な気候関連リスクごとに、関連する政策を含め、リスクがどのように監視、管理、軽減されているかを理解するための情報</p> <p>(d) これらの気候関連リスクの特定、評価及び管理プロセスが、企業の全体的なリスク管理プロセスにどの程度、どのように統合されているか。</p>	<p>a) 組織が気候関連リスクを識別・評価するプロセスを説明する</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 組織が気候関連リスクを識別し評価するリスク管理プロセスを説明する必要がある。この説明における重要な観点は、他のリスクと比較した気候関連リスクの相対的重要性を、組織がどのように決定したかということである。 ● 組織が気候変動に関連した既存の及び新たな規制上の要件（例：排出量の制限）やその他の考え得る関連要因を考慮しているかどうか、説明する必要がある。 ● 組織は以下の開示についても同様に考慮する必要がある。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 識別された気候関連リスクの潜在的な大きさとスコープを評価するプロセス。 ・ リスクに関する専門用語の定義または使用した既存のリスク分類制度における参考文献。 <p>b) 組織が気候関連リスクを管理するプロセスを説明する</p> <ul style="list-style-type: none"> ● これらのリスクを緩和・移動・受容・またはコントロールする決定をどのように行うかなど、組織が気候関連リスクを管理するプロセスを説明する必要がある。加えて、当該組織の中でどのように重要性の決定を行ったかなど、組織が気候関連リスクに優先順位をつけるプロセスについても説明する必要がある。 ● 気候関連リスクを管理するプロセスを説明する際に、組織は必要に応じて、表1 及び表2などのリスクに取り組むことが必要である。 <p>c) 組織が気候関連リスクを識別・評価・管理するプロセスが組織の総合的リスク管理にどのように統合されているかについて説明する</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 組織は、気候関連のリスクを識別・評価・管理するプロセスが、当該組織の全体のリスク管理の中にどのように統合されているかについて説明する必要がある。

気候関連開示プロトタイプ：指標と目標（1）

気候関連開示プロトタイプ	TCFD提言（参考）
<p>12 企業は、一般目的の財務報告の利用者が、重要な気候変動リスクと機会の管理に関する企業のパフォーマンスを理解できるような情報を開示しなければならない。この目的を達成するため、企業は以下を開示しなければならない。</p> <p>(a)業種横断指標（パラグラフ13参照）</p> <p>(b)業種別指標（Appendix B参照）</p> <p>(c)気候変動リスクの軽減や適応、気候変動機会の最大化のために経営者が設定した目標。</p> <p>(d) 第12項(c)で特定された目標に向けた進捗を測定するために、取締役会または経営陣が使用するその他の主要業績評価指標。</p>	

気候関連開示プロトタイプ：指標と目標（2）

気候関連開示プロトタイプ	TCFD提言（参考）
<p>13 企業は、以下の業種横断的な指標を開示しなければならない。</p> <p>(a) 温室効果ガス排出量：温室効果ガスプロトコルに準拠し、Scope1、Scope2、Scope3の総排出量をCO2換算トン数で表したものと、及び排出量原単位。</p> <p>(b) 移行リスク：移行リスクに対して脆弱な資産または事業活動の量と割合。</p> <p>(c) 物理的リスク：物理的リスクに対して脆弱な資産または事業活動の量と割合。</p> <p>(d) 気候変動に関連する機会：気候変動に関連する機会に沿った収入、資産、その他の事業活動の割合（金額または割合で表示される）。</p> <p>(e) 資本展開：気候変動リスクと機会に対して投入された資本支出、融資、投資の額で、報告通貨で表示される。</p> <p>(f) 内部炭素価格：企業が内部で使用する温室効果ガス排出量1トンあたりの価格。企業が意思決定（例えば、投資決定、移転価格、シナリオ分析）において炭素価格をどのように適用しているかを含め、二酸化炭素換算量1トンあたり報告通貨で表示される。</p> <p>(g) 報酬：当期において気候変動による影響を受けた経営幹部の報酬の割合（段落4(f)も参照）、報告通貨による割合、重み付け、説明、金額で表される。</p>	<p>a) 組織が、自らの戦略とリスク管理プロセスに即して、気候関連のリスク及び機会を評価する際に用いる指標を開示する</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 組織は、気候関連リスク及び機会（表1及び表2に示す）を測定・管理するために用いた、鍵となる指標を提供する必要がある。また、水、エネルギー、土地利用、廃棄物管理の気候関連リスクを、関連性や必要に応じて考慮する必要がある。 ● 気候関連リスクの重要性が高い場合には、関連のパフォーマンス指標が報酬規定に取り入れられているか、それがどのように取り入れられているか、記載することを検討すべきである。 ● 低炭素経済に向けてデザインされた商品やサービスによる収入など、組織の気候関連の機会に関する指標と共に、必要に応じ、組織内部で用いる炭素価格を提供すべきである。 ● 指標は、トレンド分析が行えるように、過去の一定期間のものを提供する必要がある。加えて、組織が気候関連の指標の算定または推計に用いた方法論に関する説明を、それらが明確ではない場合には提供する必要がある。 <p>b) Scope 1、Scope 2 及び当てはまる場合はScope 3 の温室効果ガス（GHG）排出量と、その関連リスクについて開示する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 組織は、Scope 1、Scope 2 及び当てはまる場合はScope 3 の温室効果ガス（GHG）排出量と、その関連リスクについて提供する必要がある。 ● GHG 排出量は、組織や国・地域を越えて集計・比較できるようにするため、GHG プロトコルの方法論に従って計算する必要がある。組織は、適宜、関連の一般に普及している産業別GHG 効率値を提供することを検討すべきである。 ● GHG 排出量及び関連の指標は、トレンド分析が行えるように、過去の一定期間のものを提供する必要がある。加えて、組織が気候関連の指標の算定または推計に用いた方法論に関する説明を、それらが明確ではない場合には提供する必要がある。

気候関連開示プロトタイプ：指標と目標（3）

気候関連開示プロトタイプ	TCFD提言（参考）
<p>14 スコープ3の温室効果ガス排出量については、開示された指標に含まれる活動についての説明を提供しなければならない。例えば、オンライン小売業者は、顧客に販売する製品の出荷物流のために報告企業が購入した第三者の輸送・流通サービスから生じる温室効果ガス排出に関連するリスクや機会にさらされている可能性がある。小売業者は、そのような排出量に関する情報が、一般目的の財務報告書の利用者がその企業価値を評価する上で重要であると判断することができる。従って、小売業者はScope3の温室効果ガス排出量の決定に、サプライチェーン内の事業者から提供された排出量情報がどのように含まれたかを説明することになる。</p> <p>15 企業は、気候変動に関する目標を開示しなければならない。</p> <p>(a) 目標設定の目的（例えば、緩和、適応、セクターや科学に基づくイニシアティブへの適合等）</p> <p>(b) 目標が絶対値ベースか排出原単位ベースか。</p> <p>(c) 目標が科学的根拠に基づくかどうか、また基づく場合は第三者による検証を受けたかどうか。</p> <p>(d) 目標が部門別脱炭素化アプローチを用いて導き出されたものかどうか。</p> <p>(e) 目標が適用される時間軸。</p> <p>(f) 進捗を測定するための基準年。</p> <p>(g) マイルストーン又は中間目標</p> <p>(h) 目標達成および戦略的目標達成に向けた進捗を評価するために使用する指標。</p>	<p>c) 組織が気候関連リスク及び機会を管理するために用いる目標、及び目標に対する実績について説明する</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 組織は、GHG 排出、水利用、エネルギー利用などに関連する鍵となる気候関連の目標について、今後予想される規制上の要件または市場の制約、その他のゴールに則して説明する必要がある。その他のゴールとしては、効率や財務的ゴール、財務上の損失に対する耐性、製品の全ライフサイクルを通じて回避されたGHG 排出量、または低炭素社会向けにデザインされた製品やサービスによる正味の収入のゴールなどがあり得る。 ● これらの目標を説明する際には、以下を考慮する必要がある。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 目標が絶対量ベースか、または原単位（intensity）ベースか。 ・ 目標のタイムフレーム。 ・ 進捗を計測する際の基準年。 ・ 目標の進捗を評価するキー・パフォーマンス・インディケーター。 ● 当該組織は、目標の算定と計測に利用した手法の説明を、それらが明確でない場合には行う必要がある。

気候関連開示プロトタイプ：発行日

気候関連開示プロトタイプ	TCFD提言（参考）
<p>16 [IFRS SX]は、「月、年」に発行された。 企業は、20XX年1月1日以降に開始する年次報告期間から[IFRS SX]を適用しなければならない。早期適用も可能である。IFRS SX]を早期適用する場合、企業はそのことを開示しなければならない。</p> <p>17 企業は、[4-15]項に規定する開示について、実務上不可能な場合は、初度適用日以前のいかなる期間についても提供する必要はない。</p>	

気候関連開示プロトタイプ：Appendix A 用語の定義（1）

用語	定義
絶対的目標 Absolute target	時間の経過に伴う排出量の絶対量の削減によって定義される目標。例えば、2010年までにCO2排出量を1994年比で25%削減すること。
予想されること Anticipated	将来の期間において、リスクや機会がもたらす影響を指す。 将来の期間において予想される効果を金額で示す場合、単一の金額または範囲として表現することができる。
ビジネスモデル Business Model	企業が価値を創造し、長期的なものも含めてキャッシュフローを生み出そうとするために、統合された一連のプロセス。
二酸化炭素の除去 Carbon dioxide removal	大気中の二酸化炭素（CO2）を除去し、地中・陸上・海洋・貯水池や製品中に永久的に貯留する人為的な活動。それは、生物学的または地球化学的な吸収源や直接的な大気中の二酸化炭素の回収・貯留を人為的に強化する現存および潜在的な活動を含むが、人為的活動に直接起因しない自然の二酸化炭素の吸収は除外される。
カーボンオフセット Carbon offset	温室効果ガスの排出削減または除去を表す排出権プログラムによって発行される排出単位のこと。カーボンオフセットは、電子登録によって一意にシリアル化され、発行、追跡、取消が可能である。
カーボンプライス Carbon price	投資、生産、消費パターンの変化、潜在的な技術進歩、将来の排出削減コストの財務的な影響を評価するために企業が使用する価格。企業の内部炭素価格は、様々なビジネス用途に利用できる。企業の内部炭素価格として一般的に使われるものとして2つのタイプがある。 1つは「シャドープライス」で、組織が請求しない理論的なコストや概念的な金額であるが、リスク影響、新規投資、プロジェクトの正味現在価値、様々な取り組みのコストベネフィットなどの経済的意味やトレードオフを評価する際に利用されるものである。 2つは、「内部税」または「内部料金」で、事業活動、製品ライン、またはその他の事業部門の温室効果ガス排出量に基づいて課される炭素価格です（これらの内部税または内部料金は、企業内移転価格に類似している）。

気候関連開示プロトタイプ：Appendix A 用語の定義（2）

用語	定義
気候または気候変動に対する耐性 Climate resilience or resilience to climate change	気候変動に適応し、関連するリスクを管理し、機会を獲得するための企業の能力開発。これには、移行リスクや物理的リスクに対応する能力を含む。機会には、効率性の向上、新しい生産プロセスの設計、新製品の開発などが含まれる。レジリエンスに関連する機会は、長寿命の固定資産や大規模な供給・流通ネットワークを持つ企業、バリューチェーンにおいて公益事業やインフラネットワーク、天然資源に大きく依存している企業、長期的な資金調達や投資を必要とする企業にとって特に重要であると考えられる。
気候シナリオ分析 Climate scenario analysis	シナリオ分析とは、不確実性のある条件下で、将来の事象の結果の可能性の範囲を特定し、評価するプロセスである。例えば、気候変動の場合、シナリオは、気候変動による物理的・移行的なリスクが、長期的に事業、戦略、財務実績にどのような影響を与え得るかを探索し、理解を深めることを可能にするものである。
気候に関連する機会 Climate-related opportunities	気候変動に関連する、企業への潜在的なプラスの影響。気候変動の緩和や適応に向けた取り組みは、資源の効率化やコスト削減、サプライチェーンにおけるレジリエンスの構築、低排出エネルギー源の採用や利用、新製品やサービスの開発など、企業に機会をもたらすことができる。気候変動に関連する機会は、企業が事業を展開する地域、市場、産業によって異なる。
気候関連リスク Climate-related risks	気候変動が企業に及ぼす潜在的なマイナスの影響を指す。気候変動から生じる物理的リスクは、異常気象（サイクロン、干ばつ、洪水、火災など）の深刻度の増加など、イベント駆動型（急性）の場合がある。また、降水量や気温の長期的な変化（慢性的）、気象パターンの変動性の増大（例えば、海面上昇）にも関係することがある。気候関連リスクは、また低炭素な世界経済への移行に関連し得るものであり、最も一般的なものは、政策や法的措置、技術の変化、市場の反応、風評に関連するものである。
CO2換算値 CO2 equivalent (CO ₂ -e)	7種類の温室効果ガスそれぞれの地球温暖化係数を示す世界共通の単位で、1単位の二酸化炭素の100年間の地球温暖化係数を用いて表される。あらゆる温室効果ガスの放出（または放出回避）を共通の基準で評価するために用いられる。

気候関連開示プロトタイプ：Appendix A 用語の定義（3）

用語	定義
温室効果ガス Greenhouse gases	京都議定書に定められた7種類の温室効果ガス。二酸化炭素（CO ₂ ）、メタン（CH ₄ ）、亜酸化窒素（N ₂ O）、ハイドロフルオロカーボン（HFCs）、三フッ化窒素（NF ₃ ）、パーフルオロカーボン（PFCs）、六フッ化硫黄（SF ₆ ）のこと。
原単位目標 Intensity target	例えば、「2008年までにセメント1トンあたりのCO ₂ を12%削減する等」、事業指標に対する排出量の比率を時間経過とともに減少させるものとして定義される目標。
レガシー資産 Legacy asset	長期間にわたり企業の財政状態計算書に計上され、その後陳腐化した、あるいは当初の価値のほとんどを失った資産のこと。
パリ協定シナリオ Paris-aligned scenario	地球温暖化を産業革命前より2℃未満に抑制し、1.5℃に抑制する努力を追求することと整合的なシナリオ。
物理的リスク Physical risks	気候変動に起因するリスクで、イベント駆動型（急性）と長期的なシフト型（慢性）の気候パターンがある。これらのリスクは、資産への直接的な損害や、サプライチェーンの混乱による間接的な影響など、企業にとって財務的な影響をもたらす可能性がある。また、水の利用可能性、調達、品質の変化、食の安全、企業の敷地、業務、サプライチェーン、輸送ニーズ、従業員の安全に影響を及ぼす極端な気温の変化によっても、企業の財務パフォーマンスは影響を受ける可能性がある。
科学的根拠に基づく目標 Science-based targets	パリ協定の目標（産業革命以前の水準から2度未満に地球温暖化を抑制し、1.5度に抑制する努力を続ける）を達成するために必要な最新の気候科学に沿った目標であれば、「科学に基づく」と見なされる。

気候関連開示プロトタイプ：Appendix A 用語の定義（4）

用語	定義
Scope 1 排出量 Scope 1 emissions	企業が所有または管理する排出源から発生する直接的な温室効果ガス排出。例えば、所有または管理するボイラー、炉、車両における燃焼による排出、あるいは所有または管理するプロセス装置における化学物質生産による排出など。
Scope 2 排出量 Scope 2 emissions	企業が消費する購入電力、熱、蒸気の発生に伴い発生する間接的な温室効果ガスの排出量。購入電力とは、購入する、あるいは企業の境界内に持ち込まれる電力と定義される。Scope 2 排出量は、物理的には発電所で発生する。
Scope 3 排出量 Scope 3 emissions	<p>報告企業のバリューチェーンで発生するScope 2 以外の間接排出で、上流と下流の両方の排出を含むもの。GHGプロトコルによると、Scope 3 排出量は、以下の15種類に分類される。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 購入した商品とサービス 2. 資本財 3. Scope 1 およびScope 2 に含まれない燃料およびエネルギーに関連する活動 4. 上流輸送・流通 5. 事業活動で発生する廃棄物 6. 出張 7. 従業員の通勤 8. 上流リース資産 9. 下流輸送・物流 10. 販売した製品の加工 11. 販売した製品の使用 12. 販売製品の廃棄処理 13. 下流リース資産 14. フランチャイズ 15. 投資 <p>Scope3は、購入した材料や燃料の抽出と生産、報告企業が所有または管理していない車両での輸送関連活動、電力関連活動（例えば、送配電損失）、外部委託活動、および廃棄物処理などを含む可能性がある。</p>

気候関連開示プロトタイプ：Appendix A 用語の定義（5）

用語	定義
移行計画 Transition plan	温室効果ガスの排出削減など、低炭素経済への移行を支援する一連の目標と行動を定めた、企業の全体的な戦略の側面。
移行期のリスク Transition risks	低炭素経済への移行は、気候変動に関連する緩和と適応の要求に対応するために、政策、法律、技術、市場の広範な変化を伴う可能性がある。これらの変化の性質、スピード、焦点によって、移行リスクは企業に様々なレベルの財務及び風評リスクをもたらす可能性がある。

気候関連開示プロトタイプ：Appendix B 業種別開示要求（1）

Appendix B 業種別開示要求の注釈等

注釈：テーマ別要求事項と業種別要求事項がどのように関連するか等、TRWGが提案する基準のアーキテクチャの概要については、概要文書を参照のこと。業種別開示はテーマ別基準の他の部分と同じ権限を持つ、すなわち、強制的な開示要求である。

1. 第12項(b)の要件を満たすために、企業は、業種別開示要求の概要を記載した以下の表を使用しなければならない。
2. 以下の業種別開示要求事項の要約は、セクター及び業種別に整理されている。各業種において、気候変動リスクや機会に関する開示項目が特定されている。一連の会計指標には、各開示項目が関連付けられている。要求事項の全文は、「気候関連開示基準補足（Prototype Climate-related Disclosures Standard Supplement）：開示要求事項のための技術的プロトコル」で見ることができる。この文書には、業種別の説明、開示項目の説明、技術的プロトコル（定義、範囲、実施、集計、表示に関する指針を提供する）を伴う指標、および活動指標（企業の活動規模を定量し、データを正規化し比較を容易にするために会計指標と合わせて使用することを意図する）などが含まれる。
3. 以下の開示項目と関連する測定基準は、業種ベースの活動を参照して列挙されている。企業はそのビジネスモデルに沿った活動や、特定の気候変動リスクや機会に関する指標を開示しなければならない（shall）。企業によっては、複数の業種にまたがる活動を行っている場合もある。
4. 以下のリストは、網羅的なものではない。企業はそのビジネスモデル固有の気候変動リスクや機会に関して、本基準の要求事項を満たすために、さらなる業種別開示や主要業績指標の提供を必要とする可能性がある。

注釈：ISSBによる検討のためのTRWGの提言には、ビジネスモデルが幅広い活動から構成されている場合に、適切な産業分類を選択するための包括的なガイダンスを開発するという提案が含まれています。

気候関連開示プロトタイプ：Appendix B 業種別開示要求（2）

Appendix B 業種別開示要求の注釈等

注釈：以下の業種別開示の要約版は、検討を容易にするため、気候関連開示のプロトタイプの一部として含まれている。各指標の業種定義や技術的プロトコルについては、開示要求のための技術的プロトコルの補足を参照されたい。さらに、ISSBによる検討のためのTRWGの提言の中に、ISSBが解決すべき以下の問題に関して、業種別開示にタグ付けをすることが含まれている。

- 国際的な適用可能性（全セクター）。
- 重複（特定のセクター）；および
- 融資された排出量とポートフォリオの整合性（金融セクター）。

ISSBがこれらの課題やその他の潜在的な課題に取り組むのを支援するため、TRWGは、以下の表に示すように、課題のサブセットを特定し、4つの分野に分類した。

業種別開示の問題	説明と例
国際的な適用性	エネルギースター（米国 環境保護機関）など、管轄地域固有の規制や基準を引用した指標。
気候の範囲	水質など、気候変動と間接的に関係する指標。
ガバナンス、戦略、またはリスク管理についての要求との重複	リスクに関する記述など、規格本体で要求される開示と重複する、または対立するような測定基準
業種横断指標との重複	Scope 1 GHG 排出量など、業種横断的に要求される指標と同一または類似している指標

※ 業種別指標の要約版の表は割愛

気候関連開示プロトタイプ 付属書（業種別指標）

2022年2月

経済産業省 経済産業政策局

産業資金課・企業会計室

（注）本資料はIFRS財団が公表している「気候関連開示基準プロトタイプ」を企業会計室で仮訳したもので、IFRS財団の公式資料ではありません。

このため、本資料の利用にあたっては、必ず原典にあたり内容の確認を行っていただくと幸いです。

業種分類 (1)

セクター	頁数
消費財セクター	3
Apparel, Accessories & Footwear	4
Appliance Manufacturing	5
Building Products & Furnishings	6
E-Commerce	7-8
Household & Personal Products	9
Multiline and Specialty Retailers & Distributors	10
抽出物・鉱物加工セクター	11
Coal Operations	12-13
Construction Materials	14-15
Iron & Steel Producers	16-17
Metals & Mining	18
Oil & Gas – Exploration & Production	19-21
Oil & Gas – Midstream	22
Oil & Gas – Refining & Marketing	23
Oil & Gas – Services	24

セクター	頁数
金融セクター	25
Asset Management & Custody Activities	26
Commercial Banks	27
Insurance	28-29
Investment Banking & Brokerage	30
Mortgage Finance	31
食品・飲料セクター	32
Agricultural Products	33-34
Alcoholic Beverages	35-36
Food Retailers & Distributors	37-38
Meat, Poultry & Dairy	39-40
Non-Alcoholic Beverages	41-42
Processed Foods	43-44
Restaurants	45
ヘルスケアセクター	46
Drug Retailers	47
Health Care Delivery	48
Health Care Distributors	49
Managed Care	50
Medical Equipment & Supplies	51

業種分類 (2)

セクター	頁数
インフラセクター	52
Electric Utilities & Power Generators	53-55
Engineering & Construction Services	56-57
Gas Utilities & Distributors	58
Home Builders	59-60
Real Estate	61-62
Real Estate Services	63
Waste Management	64
Water Utilities & Services	65-66
再生可能資源・代替エネルギーセクター	67
Biofuels	68
Forestry Management	69
Fuel Cells & Industrial Batteries	70
Pulp & Paper Products	71
Solar Technology & Project Developers	72
Wind Technology & Project Developers	73
資源転換セクター	74
Aerospace & Defense	75
Chemicals	76
Containers & Packaging	77
Electrical & Electronic Equipment	78
Industrial Machinery & Goods	79

セクター	頁数
サービスセクター	80
Casinos & Gaming	81
Hotels & Lodging	82
Leisure Facilities	83
技術・通信セクター	84
Electronic Manufacturing Services & Original Design Manufacturing	85
Hardware	86
Internet Media & Services	87
Semiconductors	88
Software & IT Services	89
Telecommunication Services	90
運輸セクター	91
Air Freight & Logistics	92
Airlines	93
Auto Parts	94
Automobiles	95
Car Rental & Leasing	96
Cruise Lines	97
Marine Transportation	98
Rail Transportation	99
Road Transportation	100

消費財セクター

Apparel, Accessories & Footware (衣料品、装飾品、履物)

気候関連の開示項目と会計指標

トピック	会計指標	カテゴリー	測定単位	コード
原材料リソース	主要な原材料の資源地に関連する環境及び社会リスクの説明	議論及び分析	n/a	CG-AA-440a.1
	第三者機関の環境基準および/または社会基準に認証されている、調達された原材料の割合、および基準別の割合	定量的	重量あたり割合 (%)	CG-AA-440a.2

活動指標

活動指標	カテゴリー	測定単位	コード
(1) ティア1サプライヤーの数、(2) ティア1以外のサプライヤーの数	定量的	数量	CG-AA-000.A

(資料) IFRS TRWG "Climate-related Disclosures Prototype Supplement: Technical Protocols for Disclosure Requirements" から経済産業省仮訳

Appliance Manufacturing（家電製品製造業）

気候関連の開示項目と会計指標

トピック	会計指標	カテゴリー	測定単位	コード
製品ライフサイクルが環境に与える影響	売上に占めるエネルギースタープログラムの認証製品の割合	定量的	収益あたり割合（%）	CG-AM-410a.1
	売上に占める米国家電製品協会（AHAM）が定めるサステナビリティ規格の認証製品の割合	定量的	収益あたり割合（%）	CG-AM-410a.2
	製品の廃棄段階の影響を管理するための取組の記述	議論及び分析	n/a	CG-AM-410a.3

活動指標

活動指標	カテゴリー	測定単位	コード
年間生産量（製品種類別）	定量的	数（ユニット数）	CG-AM-000.A

（資料）IFRS TRWG “Climate-related Disclosures Prototype Supplement: Technical Protocols for Disclosure Requirements” から経済産業省仮訳

Building Products & Furnishings (建築資材)

気候関連の開示項目と会計指標

トピック	会計指標	カテゴリ	測定単位	コード
製造過程におけるエネルギー管理	(1) 総エネルギー消費量、(2) グリッド電力の割合、(3) 再生可能エネルギーの割合	定量的	ギガジュール(GJ) 割合 (%)	CG-BF-130a.1
	製品ライフサイクルのへの影響管理、及びサステナブル製品への需要への対応についての取り組みに関する説明	議論及び分析	n/a	CG-BF-410a.1
製品ライフサイクルが環境に与える影響	(1) 廃材の回収量、(2) 廃材の再利用割合	定量的	トン (t) 重量あたり割合 (%)	CG-BF-410a.2
木材のサプライチェーンマネジメント	(1) 木繊維原料の購入総量、(2) 第三者認証森林地から購入割合、(3) 基準による割合、(4) その他の木繊維基準に対する認証割合、(5) 基準による割合	定量的	トン (t) 重量あたり割合 (%)	CG-BF-430a.1

活動指標

活動指標	カテゴリ	測定単位	コード
年間生産量 (製品種類別)	定量的	企業の管理単位 (例: ユニット数、重量、平方メートル (m ²))	CG-BF-000.A
製造設備の面積	定量的	平方メートル (m ²)	CG-BF-000.B

(資料) IFRS TRWG "Climate-related Disclosures Prototype Supplement: Technical Protocols for Disclosure Requirements" から経済産業省仮訳

E-Commerce（インターネット販売業）

気候関連の開示項目と会計指標

トピック	会計指標	カテゴリー	測定単位	コード
ハードウェア 札日、エネルギー及び 水の管理	(1) 総エネルギー消費量、(2) グリッド電力の割合、(3) 再生可能エネルギーの割合	定量的	ギガジュール(GJ) 割合 (%)	CG-EC-130a.1
	(1) 総取水量、(2) 総消費水量、ベースライン水ストレス (※) が「高い」または「非常に高い」地域でのそれぞれの割合 (※) ベースライン水ストレス：利用可能な水供給量に対する 総取水量の比率	定量的	千平方メートル (m ²) 割合 (%)	CG-EC-130a.2
	データセンターのニーズに対するための戦略的計画への、環境配慮 の組み入れ統合に関する検討	議論及び分析	n/a	CG-EC-130a.3
商品梱包・ 輸送	商品出荷における温室効果ガス (GHG) フットプリント	定量的	CO ₂ 排出量 (t)	CG-EC-410a.1
	商品配送による環境負荷削減に向けた戦略に関する議論	議論及び分析	n/a	CG-EC-410a.2

(資料) IFRS TRWG “Climate-related Disclosures Prototype Supplement: Technical Protocols for Disclosure Requirements” から経済産業省仮訳

E-Commerce（インターネット販売業）

活動指標

活動指標	カテゴリー	測定単位	コード
企業が定義するユーザーアクティビティの指標	定量的	数量	CG-EC-000.A
データ処理能力、外部委託の割合	定量的	※1, ※2	CG-EC-000.B
出荷数	定量的	数量	CG-EC-000.C

※1 データ処理能力の例：

- MSU（100万サービスユニット）、MIPS（100万命令/秒）、MFLOPS（100万フロップス）、計算サイクル、その他の測定単位による
- あるいは、ラックスペースやデータセンターの平方メートル（㎡）等、他の測定単位で所有・外部委託されたデータ処理のニーズを開示する場合がある。

※2 外部委託割合は、コロケーション施設・クラウドサービス（サービスプラットフォーム、サービスインフラ等）も含まれる。

Household & Personal Products (日用品)

気候関連の開示項目と会計指標

トピック	会計指標	カテゴリー	測定単位	コード
水資源管理	(1) 総取水量、(2) 総消費水量、ベースライン水ストレスが高いまたは極端に高い地域におけるそれぞれの割合 (※) ベースライン水ストレス：利用可能な水供給量に対する総取水量の比率	定量的	千平方メートル (m ²) 割合 (%)	CG-HP-140a.1
	水管理リスクの説明と、それらのリスクを軽減するための戦略と取り組みの説明	議論及び分析	n/a	CG-HP-140a.2
パーム油サプライチェーンにおける環境・社会影響	パーム油の調達量、持続可能なパーム油のための円卓会議 (RSPO) のサプライチェーンを通じて認証された(a)アイデンティティ・プリザーブド、(b)セグリゲーション、(c)マスバランスまたは(d)ブック&クレームの割合	定量的	トン (t) 割合 (%)	CG-HP-430a.1

活動指標

活動指標	カテゴリー	測定単位	コード
販売された製品の単位、販売された製品の総重量	定量的	数量、トン (t)	CG-HP-000.A
製造施設数	定量的	数量	CG-HP-000.B

(資料) IFRS TRWG "Climate-related Disclosures Prototype Supplement: Technical Protocols for Disclosure Requirements" から経済産業省仮訳

Multiline and Specialty Retailers & Distributors (小売・物流業)

気候関連の開示項目と会計指標

トピック	会計指標	カテゴリ	測定単位	コード
小売・輸送におけるエネルギー管理	(1) 総エネルギー消費量、(2) グリッド電力の割合、(3) 再生可能エネルギーの割合	定量的	ギガジュール(GJ) 割合 (%)	CG-MR-130a.1

活動指標

活動指標	カテゴリ	測定単位	コード
(1) 小売店舗数、(2) 物流拠点数	定量的	数量	CG-MR-000.A
(1) 小売店舗総面積、(2) 物流拠点総面積	定量的	平方メートル (m ²)	CG-MR-000.B

(資料) IFRS TRWG "Climate-related Disclosures Prototype Supplement: Technical Protocols for Disclosure Requirements" から経済産業省仮訳

抽出物・鋳物加工セクター

Coal Operations (石炭採掘業)

気候関連の開示項目と会計指標

トピック	会計指標	カテゴリー	測定単位	コード
温室効果 ガスの排出	世界全体のScope 1 排出量 排出量制限規制の対象となる割合	定量的	トン (t) CO2 排出量割合 (%)	EM-CO-110a.1
	Scope 1 排出量の排出量を管理するための長期的および短期的な戦略または計画、排出量削減目標、およびそれらの目標に対するパフォーマンスの分析についての議論	議論及び分析	n/a	EM-CO-110a.2
水資源管 理	(1) 淡水の総取水量、(2) リサイクル割合、(3) ベースライン水ストレスが高いまたは極端に高い地域におけるそれぞれの割合 (※) ベースライン水ストレス：利用可能な水供給量に対する総取水量の比率	定量的	千平方メートル (m ²) 割合 (%)	EM-CO-140a.1
	水質の許可、標準、規制に関連するコンプライアンス違反の件数	定量的	件数	EM-CO-140a.2
リザーブ評 価及び資 本支出	炭素排出量の価格を説明する将来の価格予測シナリオに対する石炭埋蔵量レベルの感度	定量的	百万トン (t)	EM-CO-420a.1
	実証済石炭埋蔵量に含まれる（発生が見込まれる）見積み二酸化炭素排出量	定量的	CO2 排出量 (t)	EM-CO-420a.2
	石炭の価格・需要および/または気候規制が、資産の調査、買収、開発のための設備投資戦略にどのように影響するかに関する議論	議論及び分析	n/a	EM-CO-420a.3

(資料) IFRS TRWG "Climate-related Disclosures Prototype Supplement: Technical Protocols for Disclosure Requirements" から経済産業省仮訳

Coal Operations (石炭採掘業)

活動指標

活動指標	カテゴリー	測定単位	コード
燃料炭の生産量	定量的	百万トン (t)	EM-CO-000.A
原料炭の生産量	定量的	百万トン (t)	EM-CO-000.B

(資料) IFRS TRWG "Climate-related Disclosures Prototype Supplement: Technical Protocols for Disclosure Requirements" から経済産業省仮訳

Construction Materials (建設業)

気候関連の開示項目と会計指標

トピック	会計指標	カテゴリー	測定単位	コード
温室効果 ガスの排出	世界全体のScope 1 排出量 排出量制限規制の対象となる割合	定量的	トン (t) CO2 排出量割合 (%)	EM-CM-110a.1
	Scope 1 排出量の排出量を管理するための長期的および短期的な戦略または計画、排出量削減目標、およびそれらの目標に対するパフォーマンスの分析についての議論	議論及び分析	n/a	EM-CM-110a.2
大気質	(1)NOX、(2)SOX、(3)PM10、(4)ダイオキシン、フラン等、 (5)VOC、(6)多環芳香族、(7)重金属排出量	定量的	トン (t)	EM-CM-120a.1
エネルギー 管理	(1)総エネルギー消費量、(2)系統電力の割合、(3)代替エネルギーの割合、(4)再生可能エネルギーの割合	定量的	ギガジュール(GJ) 割合 (%)	EM-CM-130a.1
水管理	(1)淡水の総取水量、(2)リサイクル率、(3)ベースライン水ストレスが高い、または極めて高い地域にある割合	定量的	1,000立方メートル(m ³) 割合 (%)	EM-CM-140a.1
廃棄物管理	廃棄物生成量、有害廃棄物の割合、リサイクルされた割合	定量的	トン(t)、割合 (%)	EM-CM-150a.1
製品のイノベーション	持続可能なデザイン、建設の認証の対象となる製品の割合	定量的	売上に占める割合 (%)	EM-CM-410a.1
	エネルギー消費、水及び/または素材への影響を削減する製品の対象となる市場及び割合	定量的	通貨単位、割合 (%)	EM-CM-410a.2

(資料) IFRS TRWG "Climate-related Disclosures Prototype Supplement: Technical Protocols for Disclosure Requirements" から経済産業省仮訳

Construction Materials (建設業)

活動指標

活動指標	カテゴリー	測定単位	コード
主要製品毎の生産量 (収入に応じた分類とし、少額の場合は合算してよい)	定量的	トン (t)	EM-CM-000.A

Iron & Steel Producers (鉄鋼業)

気候関連の開示項目と会計指標

トピック	会計指標	カテゴリー	測定単位	コード
温室効果 ガスの排出	世界全体のScope 1 排出量 排出量制限規制の対象となる割合	定量的	トン (t) CO2 排出量割合 (%)	EM-IS-110a.1
	Scope 1 排出量の排出量を管理するための長期的および短期的な戦略または計画、排出量削減目標、およびそれらの目標に対するパフォーマンスの分析についての議論	議論及び分析	n/a	EM-IS-110a.2
エネルギー 管理	(1)総電力消費量、(2)系統電力の割合、(3)再生可能エネルギーの割合	定量的	ギガジュール(GJ) 割合 (%)	EM-IS-130a.1
	(1)総燃料消費量、(2)石炭の割合、(3)天然ガスの割合、(4)再生可能エネルギーの割合	定量的	ギガジュール(GJ) 割合 (%)	EM-IS-130a.2
水管理	(1)淡水の総取水量、(2)リサイクル率、(3)ベースライン水ストレスが高い、または極めて高い地域にある割合	定量的	1,000立方メートル(m ³) 割合 (%)	EM-IS-140a.1
サプライ チェーン管 理	環境・社会問題に起因する鉄鉱石や原料炭の調達リスクを管理するためのプロセスについての議論	議論及び分析	n/a	EM-IS-430a.1

(資料) IFRS TRWG "Climate-related Disclosures Prototype Supplement: Technical Protocols for Disclosure Requirements" から経済産業省仮訳

Iron & Steel Producers (鉄鋼業)

活動指標

活動指標	カテゴリー	測定単位	コード
プロセス別粗鋼生産量、割合：(1)基礎的酸素炉プロセス、(2)電気アーク炉プロセス	定量的	トン (t) CO2 排出量割合 (%)	EM-IS-000.A
鉄鉱石生産量 (内部消費、外販用含む)	定量的	トン (t)	EM-IS-000.B
原料炭生産量 (内部消費、外販用含む)	定量的	ギガジュール(GJ) 割合 (%)	EM-IS-000.C

(資料) IFRS TRWG "Climate-related Disclosures Prototype Supplement: Technical Protocols for Disclosure Requirements" から経済産業省仮訳

Metals & Mining (鉱業)

気候関連の開示項目と会計指標

トピック	会計指標	カテゴリー	測定単位	コード
温室効果 ガスの排出	世界全体のScope 1 排出量 排出量制限規制の対象となる割合	定量的	トン (t) CO2 排出量割合 (%)	EM-MM-110a.1
	Scope 1 排出量の排出量を管理するための長期的および短期的な戦略または計画、排出量削減目標、およびそれらの目標に対するパフォーマンスの分析についての議論	議論及び分析	n/a	EM-MM-110a.2
エネルギー 管理	(1)総電力消費量、(2)系統電力の割合、(3)再生可能エネルギーの割合	定量的	ギガジュール(GJ) 割合 (%)	EM-MM-130a.1
水管理	(1)淡水の総取水量、(2) 淡水の総消費水量、ベースライン水ストレスが高い、または極めて高い地域にある割合	定量的	1,000立方メートル(m ³) 割合 (%)	EM-MM-140a.1
	水質の許可、標準、規制に関連するコンプライアンス違反の件数	定量的	数量	EM-MM-140a.2

活動指標

活動指標	カテゴリー	測定単位	コード
(1) 金属鉱石の生産量、(2) 最終的な鉄製品の生産量	定量的	販売可能トン (t)	EM-MM-000.A
総従業員数、契約社員割合	定量的	人数、割合 (%)	EM-MM-000.B

(資料) IFRS TRWG "Climate-related Disclosures Prototype Supplement: Technical Protocols for Disclosure Requirements" から経済産業省仮訳

Oil & Gas – Exploration & Production (石油・ガス (採掘・製造))

気候関連の開示項目と会計指標

トピック	会計指標	カテゴリー	測定単位	コード
温室効果 ガスの排出	世界全体のScope 1 排出量 排出量制限規制の対象となる割合	定量的	トン (t) CO ₂ 排出量割合 (%)	EM-EP-110a.1
	以下より発生する世界全体のScope 1 排出量 (1) フレア炭化水素, (2) その他燃焼, (3) プロセスエミッション, (4) その他のベント排出物、(5) 炭酸ガス排出量	定量的	CO ₂ 排出量 (t)	EM-EP-110a.2
	Scope 1 排出量の排出量を管理するための長期的および短期的な戦略または計画、排出量削減目標、およびそれらの目標に対するパフォーマンスの分析についての議論	議論及び分析	n/a	EM-EP-110a.3
水管理	(1) 淡水の総取水量、(2) 淡水の総消費水量、ベースライン 水ストレスが高い、または極めて高い地域にある割合	定量的	1,000立方メートル(m ³) 割合 (%)	EM-EP-140a.1
	水製造量及び逆流水割合 (1) 排出割合、(2) 注入割合、(3) 再利用割合 排水に含まれる炭化水素含有量	定量的	1,000立方メートル(m ³) 割合 (%) トン (t)	EM-EP-140a.2
	使用されたすべてのフラクチャリング流体化学物質 (※) が公開 されている水圧破碎された壁の割合	定量的	割合 (%)	EM-EP-140a.3
	(※) フラクチャリング流体化学物質： 水圧破碎法 (後述) により高圧の水を注入してシェールガス等を 採取する際、特殊な砂粒や、酸・防腐剤・ゲル化剤・摩擦低減 剤などの化学物質を添加した水が利用されている。			

(資料) IFRS TRWG "Climate-related Disclosures Prototype Supplement: Technical Protocols for Disclosure Requirements" から経済産業省仮訳

Oil & Gas – Exploration & Production（石油・ガス（採掘・製造））

気候関連の開示項目と会計指標（続き）

トピック	会計指標	カテゴリー	測定単位	コード
水管理 （続き）	ベースラインと比較して地表水/地下水の水質が悪化した水圧 破砕法（※）拠点の割合 （※）水圧破砕法： 高温岩体地熱発電や、シェールガス・タイトオイルの採取に用い られている、地下の岩体に超高压の水を注入して亀裂を生じさ せる手法。	定量的	割合（％）	EM-EP-140a.4
リザーブ評 価及び資 本支出	炭素排出量の価格を説明する将来の価格予測シナリオに対する 石炭埋蔵量レベルの感度	定量的	百万トン（t）	EM-EP-420a.1
	実証済石炭埋蔵量に含まれる（発生が見込まれる）見積り二 酸化炭素排出量	定量的	CO ₂ 排出量（t）	EM-EP-420a.2
	再利用エネルギーへの投資額、再利用エネルギー販売による収入	定量的	額（報告通貨）	EM-EP-420a.3
	炭化水素の価格・需要および/または気候規制が、資産の調査、 買収、開発のための設備投資戦略にどのように影響するかに関す る議論	議論及び分析	n/a	EM-EP-420a.4

（資料）IFRS TRWG “Climate-related Disclosures Prototype Supplement: Technical Protocols for Disclosure Requirements” から経済産業省仮訳

Oil & Gas – Exploration & Production（石油・ガス（採掘・製造））

活動指標

活動指標	カテゴリー	測定単位	コード
(1) 石油生産量 (2) 天然ガス生産量、(3) 合成油生産量、(4) 合成ガス生産量	定量的	千バレル/日(Mbbl/day) 百万立方フィート/日 (MMscf/day)	EM-EP-000.A
海上拠点数	定量的	数量	EM-EP-000.B
陸上拠点数	定量的	数量	EM-EP-000.C

(資料) IFRS TRWG "Climate-related Disclosures Prototype Supplement: Technical Protocols for Disclosure Requirements" から経済産業省仮訳

Oil & Gas – Midstream（石油・ガス（中間輸送））

気候関連の開示項目と会計指標

トピック	会計指標	カテゴリー	測定単位	コード
温室効果ガスの排出	グローバルなスコープ1の総排出量、メタンの割合、排出量制限規制の対象となる割合	定量的	トン (t) CO2 排出量割合 (%)	EM-MD-110a.1
	Scope 1 排出量の排出量を管理するための長期的および短期的な戦略または計画、排出量削減目標、およびそれらの目標に対するパフォーマンスの分析についての議論	議論及び分析	n/a	EM-MD-110a.2

活動指標

活動指標	カテゴリー	測定単位	コード
(1) 天然ガス、(2) 粗製油、(3) 石油精製製品の輸送量（手法毎）	定量的	トン (t) キロメートル (km)	EM-MD-000.A

(資料) IFRS TRWG "Climate-related Disclosures Prototype Supplement: Technical Protocols for Disclosure Requirements" から経済産業省仮訳

Oil & Gas – Refining & Marketing (石油・ガス (精製・販売業))

気候関連の開示項目と会計指標

トピック	会計指標	カテゴリー	測定単位	コード
温室効果 ガスの排出	世界全体のScope 1 排出量 排出量制限規制の対象となる割合	定量的	トン (t) CO2 排出量割合 (%)	EM-RM-110a.1
	Scope 1 排出量の排出量を管理するための長期的および短期的な戦略または計画、排出量削減目標、およびそれらの目標に対するパフォーマンスの分析についての議論	議論及び分析	n/a	EM-RM-110a.2
水管理	(1)淡水の総取水量、(2) 淡水の総消費水量、ベースライン水ストレスが高い、または極めて高い地域にある割合	定量的	1,000立方メートル(m ³) 割合 (%)	EM-RM-140a.1
製品諸元 及びグリーン 燃料の混 合	(1)再生可能燃料の生産、(2)分離されたバイオ燃料クレジット (RIN) の購入量に基づき達成した再生可能燃料義務量 (RVO) 比率	定量的	割合 (%)	EM-RM-410a.1
	先進的バイオ燃料及び関連インフラの市場及び市場シェア	定量的	通貨単位、割合 (%)	EM-RM-410a.2

活動指標

活動指標	カテゴリー	測定単位	コード
原油及びその他原料の精製量 (生成システムにおいてプロセスされた原油及びその他原料)	定量的	石油換算バレル (BOE)	EM-RM-000.A
精製施設容量	定量的	日産100万バレル (MBPD)	EM-RM-000.B

(資料) IFRS TRWG "Climate-related Disclosures Prototype Supplement: Technical Protocols for Disclosure Requirements" から経済産業省仮訳

Oil & Gas – Services (石油・ガス (サービス))

気候関連の開示項目と会計指標

トピック	会計指標	カテゴリー	測定単位	コード
排出量削減サービス及び燃料管理 水管理	総燃料消費量、再生可能エネルギーの割合、(1)稼働中の設備車両・(2)休眠中の設備の割合	定量的	ギガジュール(GJ) 割合 (%)	EM-SV-110a.1
	大気排出に関連するリスク・機会・影響を解決するための戦略/計画に関する議論	議論及び分析	n/a	EM-SV-110a.2
	ノンロードディーゼルエンジン規制のTier4に適合するエンジンの割合	定量的	割合 (%)	EM-SV-110a.3
水管理サービス	(1) 業務運営で取り扱っている総淡水量 (2) 再利用割合	定量的	1,000立方メートル(m ³) 割合 (%)	EM-SV-140a.1
	水消費・排水に関連するリスク・機会・影響を解決するための戦略/計画に関する議論	議論及び分析	n/a	EM-SV-140a.2

活動指標

活動指標	カテゴリー	測定単位	コード
稼働している採掘拠点	定量的	数量	EM-SV-000.A
稼働している破砕拠点	定量的	数量	EM-SV-000.B
採掘実施距離 (深さ)	定量的	メートル	EM-SV-000.C
総従業員の労働時間	定量的	時間	EM-SV-000.D

(資料) IFRS TRWG "Climate-related Disclosures Prototype Supplement: Technical Protocols for Disclosure Requirements" から経済産業省仮訳

金融セクター

Asset Management & Custody Activities (資産管理・カストディー業務)

気候関連の開示項目と会計指標

トピック	会計指標	カテゴリー	測定単位	コード
投資管理、 助言業務 へのESG要 素の取り込 み	資産クラスごとの、(1) ESGインテグレーション、(2)サステナビリティをテーマにした投資、(3)スクリーニングを行う管理資産	定量的	通貨単位	FN-AC-410a.1
	投資及び/またはウェルスマネジメントのプロセスと戦略におけるESG要素を取り込むアプローチに関する説明。	議論及び分析	n/a	FN-AC-410a.2
	投資先に対する議決権行使とエンゲージメントに関する方針と手続きに関する説明	議論及び分析	n/a	FN-AC-410a.3

活動指標

活動指標	カテゴリー	測定単位	コード
管理資産における(1)登録資産 及び(2)未登録資産の残高	定量的	通貨単位	FN-AC-000.A
カストディー・監督する資産の残高	定量的	通貨単位	FN-AC-000.B

(資料) IFRS TRWG "Climate-related Disclosures Prototype Supplement: Technical Protocols for Disclosure Requirements" から経済産業省仮訳

Commercial Banks (商業銀行)

気候関連の開示項目と会計指標

トピック	会計指標	カテゴリー	測定単位	コード
与信分析へのESG要素の取り込み	業種別の信用リスク	定量的	通貨単位	FN-CB-410a.1
	与信分析におけるESG要素を取り込むアプローチに関する説明。	議論及び分析	n/a	FN-CB-410a.2

活動指標

活動指標	カテゴリー	測定単位	コード
部門 (a:個人口座、b:中小企業口座) ごとの、当座預金及び普通・定期預金の(1)口座数 及び(2)総残高	定量的	数、通貨単位	FN-CB-000.A
部門 (a:個人口座、b:中小企業口座、c:企業) ごとの、貸出金の(1)件数 及び(2)総額 (不動産ローンやリボルビングローンは除く)	定量的	数、通貨単位	FN-CB-000.B

(資料) IFRS TRWG "Climate-related Disclosures Prototype Supplement: Technical Protocols for Disclosure Requirements" から経済産業省仮訳

Insurance (保険業)

気候関連の開示項目と会計指標

トピック	会計指標	カテゴリー	測定単位	コード
投資管理へのESG要素の取り込み	業種と資産クラスごとの総投資資産	定量的	通貨単位	FN-IN-410a.1
	投資管理のプロセスと戦略におけるESG要素を取り込むアプローチに関する説明。	議論及び分析	n/a	FN-IN-410a.2
責任ある行動にインセンティブを付与するための政策	エネルギー効率化技術及び低炭素技術に関連する正味収入保険料	定量的	通貨単位	FN-IN-410b.1
	健康面、安全面、環境面で責任ある活動や行動にインセンティブを付与する製品または製品の特長に関する議論	議論及び分析	n/a	FN-IN-410b.2
環境リスクへのエクスポージャー	気候関連の自然災害に起因する付保対象製品の予想最大損失率 (probable maximum loss: PML) (PMLの計算における気候関連シナリオに関する議論を含む)	定量的	通貨単位	FN-IN-450a.1
	(1)モデル化された大規模自然災害、(2)モデル化されていない自然大規模災害に対する保険料支払いに起因する、事象、地理的区分別の金銭的損失の総額 (再保険の正味及び総額) (気候変動に起因する影響と気象関連損失の多様性が、再保険コスト及び再保険を通じたリスク移転のアプローチに与える影響を議論すべき)	定量的	通貨単位	FN-IN-450a.2
	(1)個別契約の引受プロセス及び(2)企業レベルのリスクと自己資本率の管理における環境リスクの取り込みのアプローチ	議論及び分析	n/a	FN-IN-450a.3

(資料) IFRS TRWG "Climate-related Disclosures Prototype Supplement: Technical Protocols for Disclosure Requirements" から経済産業省仮訳

Insurance (保険業)

活動指標

活動指標	カテゴリー	測定単位	コード
(1)損害保険、(2)生命保険、(3)引受再保険における引受保険の数（製品ラインごとの分類も可能）	定量的	数	FN-IN-000.A

Investment Banking & Brokerage（投資銀行・仲介業）

気候関連の開示項目と会計指標

トピック	会計指標	カテゴリー	測定単位	コード
投資銀行・仲介業務へのESG要素の取り込み	ESG要素が組み込まれた (1)引受業務 (2)アドバイザー (3)証券化取引からの総収入	定量的	通貨単位	FN-IB-410a.1
	ESG要素が組み込まれた投融資の (1)件数 (2)投資価値及び負債	定量的	通貨単位	FN-IB-410a.2
	信用分析／投資銀行・証券業務における環境・社会・ガバナンス(ESG)要因の組み込み方法に関する説明	議論及び分析	n/a	FN-IB-410a.3

活動指標

活動指標	カテゴリー	測定単位	コード
(a)引受業務、(b)アドバイザー、(c)証券化取引の(1)件数、(2)金額	定量的	数、通貨単位	FN-IB-000.A
業種毎の投資・債務保有の(1)件数、(2)金額	定量的	数、通貨単位	FN-IB-000.B
(a)固定収入、(b)資本、(c)通貨、(d)デリバティブ、(E)コモディティ商品の市場取引実績の(1)件数、(2)金額	定量的	数、通貨単位	FN-IB-000.C

(資料) IFRS TRWG "Climate-related Disclosures Prototype Supplement: Technical Protocols for Disclosure Requirements" から経済産業省仮訳

Mortgage Finance (モーゲージ)

気候関連の開示項目と会計指標

トピック	会計指標	カテゴリー	測定単位	コード
抵当・担保 資産の環 境リスク	100年以内に洪水が起きる地域にあるモーゲージローンの (1) 契約数、(2) 金額	定量的	数量、通貨単位	FN-MF-450a.1
	モーゲージローンの既定の (1) 総期待損失 (2) デフォルト時損失率 及び地域毎の気候関連自然災害に関する滞納期限	定量的	通貨単位、割合(%)	FN-MF-450a.2
	気候変動及びその他環境リスクについて、モーゲージローンのオリジ ネーション及び引き受け(条項?)にどのように含まれているかの 説明	議論及び分析	n/a	FN-MF-450a.3

活動指標

活動指標	カテゴリー	測定単位	コード
(a)一般(住宅)、(b)商用に組成されたモーゲージローンの(1)件数、(2)金額	定量的	数、通貨単位	FN-MF-000.A
(a)一般(住宅)、(b)商用に購入されたモーゲージローンの(1)件数、(2)金額	定量的	数、通貨単位	FN-MF-000.B

(資料) IFRS TRWG "Climate-related Disclosures Prototype Supplement: Technical Protocols for Disclosure Requirements" から経済産業省仮訳

食品・飲料セクター

Agricultural Products (農産業)

気候関連の開示項目と会計指標

トピック	会計指標	カテゴリー	測定単位	コード
温室効果 ガスの排出	グローバルなスコープ1の総排出量	定量的	CO2 排出量 (t)	FB-AG-110a.1
	Scope 1 排出量の排出量を管理するための長期的および短期的な戦略または計画、排出量削減目標、およびそれらの目標に対するパフォーマンスの分析についての議論	議論及び分析	n/a	FB-AG-110a.2
	車両燃料消費量、再生可能エネルギーの割合	定量的	ギガジュール(GJ) 割合 (%)	FB-AG-110a.3
エネルギー 管理	(1) 操業エネルギー消費量 (2) グリッド電力の割合 (3) 再生可能エネルギーの割合	定量的	ギガジュール(GJ) 割合 (%)	FB-AG-130a.1
水資源	(1) 総取水量 (2) 総消費水量、ベースライン水ストレス（利用可能な水供給量に対する総取水量の比率）が高いまたは極端に高い地域におけるそれぞれの割合	定量的	千平方メートル (m ²) 割合 (%)	FB-AG-140a.1
	水管理リスクの説明と、それらのリスクを軽減するための戦略と取り組みの説明	議論及び分析	n/a	FB-AG-140a.2
	水量および/または水質の許可、標準、規制に関連するコンプライアンス違反の件数	定量的	件数	FB-AG-140a.3

(資料) IFRS TRWG "Climate-related Disclosures Prototype Supplement: Technical Protocols for Disclosure Requirements" から経済産業省仮訳

Agricultural Products (農産業)

気候関連の開示項目と会計指標 (続き)

トピック	会計指標	カテゴリ	測定単位	コード
原材料規格	作物の特定、気候変動により発現するリスクと機会の説明	議論及び分析	n/a	FB-AG-440a.1
	ベースライン水ストレス（利用可能な水供給量に対する総取水量の比率）が高いまたは極端に高い地域から調達した農産物割合	定量的	費用割合（%）	FB-AG-440a.2

活動指標

活動指標	カテゴリ	測定単位	コード
農作物製造量	定量的	トン (t)	FB-AG-000.A
加工拠点数	定量的	数	FB-AG-000.B
製造に関連している総面積	定量的	ヘクタール (ha)	FB-AG-000.C
外部原料に基づく農業生産費用	定量的	報告通貨	FB-AG-000.D

(資料) IFRS TRWG "Climate-related Disclosures Prototype Supplement: Technical Protocols for Disclosure Requirements" から経済産業省仮訳

Alcoholic Beverages (アルコール飲料製造業)

気候関連の開示項目と会計指標

トピック	会計指標	カテゴリー	測定単位	コード
エネルギー管理	(1)総電力消費量、(2)系統電力の割合、(3)再生可能エネルギーの割合	定量的	ギガジュール(GJ) 割合 (%)	FB-AB-130a.1
水資源	(1) 総取水量 (2) 総消費水量、ベースライン水ストレス（利用可能な水供給量に対する総取水量の比率）が高いまたは極端に高い地域におけるそれぞれの割合	定量的	千平方メートル (m ²) 割合 (%)	FB-AB-140a.1
	水管理リスクの説明と、それらのリスクを軽減するための戦略と取り組みの説明	議論及び分析	n/a	FB-AB-140a.2
原材料共有サプライチェーンへの環境・社会影響	サプライヤーの社会的および環境的責任の監査における (1) 不適合率および (2) (a) メジャーおよび (b) マイナーな不適合に関連する是正措置率	定量的	率	FB-AB-430a.1
原材料規格	ベースライン水ストレス（利用可能な水供給量に対する総取水量の比率）が高いまたは極端に高い地域から調達した飲料原料割合	定量的	費用割合 (%)	FB-AB-440a.1
	最重要な飲料原材料のリスト、および環境・社会的配慮による調達リスクの説明	議論及び分析	n/a	FB-AB-440a.2

(資料) IFRS TRWG "Climate-related Disclosures Prototype Supplement: Technical Protocols for Disclosure Requirements" から経済産業省仮訳

Alcoholic Beverages (アルコール飲料製造業)

活動指標

活動指標	カテゴリー	測定単位	コード
総販売量	定量的	百万ヘクタール (Mha)	FB-AB-000.A
製造拠点数	定量的	数	FB-AB-000.B
総輸送距離	定量的	マイル	FB-AB-000.C

(資料) IFRS TRWG "Climate-related Disclosures Prototype Supplement: Technical Protocols for Disclosure Requirements" から経済産業省仮訳

Food Retailers & Distributors (食品販売・輸送業)

気候関連の開示項目と会計指標

トピック	会計指標	カテゴリー	測定単位	コード
車両燃料管理	車両燃料消費量、再生可能エネルギーの割合	定量的	ギガジュール(GJ) 割合 (%)	FB-FR-110a.1
冷媒から発生する排気ガス	冷媒から発生するグローバルなスコープ1の総排出量	定量的	CO2 排出量 (t)	FB-FR-110b.1
	オゾン破壊係数ゼロの冷媒消費割合	定量的	重量あたり割合 (%)	FB-FR-110b.2
	平均冷媒放出率	定量的	割合 (%)	FB-FR-110b.3
エネルギー管理	(1) 操業エネルギー消費量 (2) グリッド電力の割合 (3) 再生可能エネルギーの割合	定量的	ギガジュール(GJ) 割合 (%)	FB-FR-130a.1
サプライチェーンからの環境・社会影響マネジメント	環境/社会持続性原料基準による第三者認証を受けた製品からの売上	定量的	報告通貨	FB-FR-430a.1
	動物福祉を含む、サプライチェーンに存在する環境・社会リスクの管理戦略に関する議論	議論及び分析	n/a	FB-FR-430a.2
	パッケージングの環境影響を削減するための戦略に関する議論	議論及び分析	n/a	FB-FR-430a.3

(資料) IFRS TRWG "Climate-related Disclosures Prototype Supplement: Technical Protocols for Disclosure Requirements" から経済産業省仮訳

Food Retailers & Distributors (食品販売・輸送業)

活動指標

活動指標	カテゴリー	測定単位	コード
(1) 小売拠点数、(2) 物流拠点数	定量的	数	FB-FR-000.A
(1) 小売り面積、(2) 物流拠点面積	定量的	平方メートル (㎡)	FB-FR-000.B
商用利用されている車両	定量的	数	FB-FR-000.C
輸送貨物マイル	定量的	マイル	FB-FR-000.D

(資料) IFRS TRWG "Climate-related Disclosures Prototype Supplement: Technical Protocols for Disclosure Requirements" から経済産業省仮訳

Meat, Poultry & Dairy (畜産業)

気候関連の開示項目と会計指標

トピック	会計指標	カテゴリー	測定単位	コード
温室効果ガス	グローバルなスコープ1の総排出量	定量的	CO2排出量 (t)	FB-MP-110a.1
	Scope 1 排出量の排出量を管理するための長期的および短期的な戦略または計画、排出量削減目標、およびそれらの目標に対するパフォーマンスの分析についての議論	議論及び分析	n/a	FB-MP-110a.2
エネルギー管理	(1)総電力消費量、(2)系統電力の割合、(3)再生可能エネルギーの割合	定量的	ギガジュール(GJ) 割合 (%)	FB-MP-130a.1
水資源管理	(1) 総取水量 (2) 総消費水量、ベースライン水ストレス（利用可能な水供給量に対する総取水量の比率）が高いまたは極端に高い地域におけるそれぞれの割合	定量的	千平方メートル (m ²) 割合 (%)	FB-MP-140a.1
	水管理リスクの説明と、それらのリスクを軽減するための戦略と取り組みの説明	議論及び分析	n/a	FB-MP-140a.2
	水質の許可、標準、規制に関連するコンプライアンス違反の件数	定量的	件数	FB-MP-140a.3
土地利用と環境影響	栄養管理計画に準拠して管理されている動物の汚物（ごみ）及び肥料の分量	定量的	トン (t) 割合 (%)	FB-MP-160a.1
	自然資源保全局（NRCS）による保存計画により管理されている牧草地・放牧地の割合	定量的	ヘクタールでの割合 (%)	FB-MP-160a.2
	高密度畜産経営体（CAFOs）からの動物性タンパク質製造量	定量的	トン (t)	FB-MP-160a.3

(資料) IFRS TRWG "Climate-related Disclosures Prototype Supplement: Technical Protocols for Disclosure Requirements" から経済産業省仮訳

Meat, Poultry & Dairy (畜産業)

気候関連の開示項目と会計指標 (続き)

トピック	会計指標	カテゴリー	測定単位	コード
飼料調達	ベースライン水ストレス（利用可能な水供給量に対する総取水量の比率）が高いまたは極端に高い地域から調達した動物飼料割合	定量的	重量割合（%）	FB-MP-440a.1
	ベースライン水ストレス（利用可能な水供給量に対する総取水量の比率）が高いまたは極端に高い地域における生産者との契約割合	定量的	契約額の割合（%）	FB-MP-440a.2
	気候変動により発現する、飼料調達・家畜供給のリスク・機会の管理戦略に関する議論	議論及び分析	n/a	FB-MP-440a.3

活動指標

活動指標	カテゴリー	測定単位	コード
加工・製造拠点数	定量的	数	FB-MP-000.A
動物性タンパク質製造量（分類、アウトソース割合）	定量的	分類割合（%）	FB-MP-000.B

(資料) IFRS TRWG "Climate-related Disclosures Prototype Supplement: Technical Protocols for Disclosure Requirements" から経済産業省仮訳

Non-Alcoholic Beverages（ノンアルコール飲料製造業）

気候関連の開示項目と会計指標

トピック	会計指標	カテゴリー	測定単位	コード
車両燃料管理	車両燃料消費量、再生可能エネルギーの割合	定量的	ギガジュール(GJ) 割合 (%)	FB-NB-110a.1
エネルギー管理	(1) 操業エネルギー消費量 (2) グリッド電力の割合 (3) 再生可能エネルギーの割合	定量的	ギガジュール(GJ) 割合 (%)	FB-NB-130a.1
水資源	(1) 総取水量 (2) 総消費水量、ベースライン水ストレス（利用可能な水供給量に対する総取水量の比率）が高いまたは極端に高い地域におけるそれぞれの割合	定量的	千平方メートル (m ²) 割合 (%)	FB-NB-140a.1
	水管理リスクの説明と、それらのリスクを軽減するための戦略と取り組みの説明	議論及び分析	n/a	FB-NB-140a.2
原材料共有サプライチェーンへの環境・社会影響	サプライヤーの社会的および環境的責任の監査における (1) 不適合率および (2) (a) メジャーおよび (b) マイナーな不適合に関連する是正措置率	定量的	率	FB-NB-430a.1

(資料) IFRS TRWG "Climate-related Disclosures Prototype Supplement: Technical Protocols for Disclosure Requirements" から経済産業省仮訳

Non-Alcoholic Beverages（ノンアルコール飲料製造業）

気候関連の開示項目と会計指標（続き）

トピック	会計指標	カテゴリ	測定単位	コード
原材料規格	ベースライン水ストレス（利用可能な水供給量に対する総取水量の比率）が高いまたは極端に高い地域から調達した飲料原料割合	定量的	費用割合（%）	FB-NB-440a.1
	最重要な飲料原材料のリスト、および環境・社会的配慮による調達リスクの説明	議論及び分析	n/a	FB-NB-440a.2

活動指標

活動指標	カテゴリ	測定単位	コード
総販売量	定量的	百万ヘクタール（Mha）	FB-NB-000.A
製造拠点数	定量的	数	FB-NB-000.B
総輸送距離	定量的	マイル	FB-NB-000.C

（資料）IFRS TRWG “Climate-related Disclosures Prototype Supplement: Technical Protocols for Disclosure Requirements” から経済産業省仮訳

Processed Foods（加工食品製造業）（1/2）

気候関連の開示項目と会計指標

トピック	会計指標	カテゴリー	測定単位	コード
エネルギー管理	(1) 操業エネルギー消費量 (2) グリッド電力の割合 (3) 再生可能エネルギーの割合	定量的	ギガジュール(GJ) 割合 (%)	FB-PF-130a.1
水資源	(1) 総取水量 (2) 総消費水量、ベースライン水ストレス（利用可能な水供給量に対する総取水量の比率）が高いまたは極端に高い地域におけるそれぞれの割合	定量的	千平方メートル (m ²) 割合 (%)	FB-PF-140a.1
	水管理リスクの説明と、それらのリスクを軽減するための戦略と取り組みの説明	議論及び分析	n/a	FB-PF-140a.3
	水量および/または水質の許可、標準、規制に関連するコンプライアンス違反の件数	定量的	数量	FB-PF-140a.2
原材料共有サプライチェーンへの環境・社会影響	第三者機関の環境基準および/または社会基準に認証されている、調達された食品成分の割合、および基準別の割合	定量的	費用割合 (%)	FB-PF-430a.1
	サプライヤーの社会的および環境的責任の監査における (1) 不適合率および (2) (a) メジャーおよび (b) マイナーな不適合に関連する是正措置率	定量的	率	FB-PF-430a.2

(資料) IFRS TRWG "Climate-related Disclosures Prototype Supplement: Technical Protocols for Disclosure Requirements" から経済産業省仮訳

Processed Foods（加工食品製造業）（2/2）

気候関連の開示項目と会計指標（続き）

トピック	会計指標	カテゴリー	測定単位	コード
原材料規格	ベースライン水ストレス（利用可能な水供給量に対する総取水量の比率）が高いまたは極端に高い地域から調達した食品原料割合	定量的	費用割合（%）	FB-PF-440a.1
	最重要な食品原材料のリスト、および環境・社会的配慮による調達リスクの説明	議論及び分析	n/a	FB-PF-440a.2

活動指標

活動指標	カテゴリー	測定単位	コード
販売された製品の重量	定量的	トン (t)	FB-PF-000.A
生産施設の数	定量的	数	FB-PF-000.B

（資料）IFRS TRWG “Climate-related Disclosures Prototype Supplement: Technical Protocols for Disclosure Requirements” から経済産業省仮訳

Restaurants（飲食店業）

気候関連の開示項目と会計指標

トピック	会計指標	カテゴリー	測定単位	コード
エネルギー管理	(1)総電力消費量、(2)系統電力の割合、(3)再生可能エネルギーの割合	定量的	ギガジュール(GJ)割合 (%)	FB-RN-130a.1
水資源	(1) 総取水量 (2) 総消費水量、ベースライン水ストレス（利用可能な水供給量に対する総取水量の比率）が高いまたは極端に高い地域におけるそれぞれの割合	定量的	千平方メートル (m ²) 割合 (%)	FB-RN-140a.1
サプライチェーン管理、食品原料	以下の食品購入割合： (1) 環境及び社会資源基準に適合している (2) 第三者機関の環境基準および/または社会基準に認証されている	定量的	費用割合 (%)	FB-RN-430a.1
	動物福祉を含む、サプライチェーンに存在する環境・社会リスクの管理戦略に関する議論	議論及び分析	n/a	FB-RN-430a.2

活動指標

活動指標	カテゴリー	測定単位	コード
(1) 直営店舗数、(2) フランチャイズ店舗数	定量的	数	FB-RN-000.A
(1) 直営拠点の従業員数、(2) フランチャイズ拠点の従業員数	定量的	数	FB-RN-000.B

(資料) IFRS TRWG "Climate-related Disclosures Prototype Supplement: Technical Protocols for Disclosure Requirements" から経済産業省仮訳

ヘルスケアセクター

Drug Retailers (医薬品販売業)

気候関連の開示項目と会計指標

トピック	会計指標	カテゴリー	測定単位	コード
小売業におけるエネルギー管理	(1) 総エネルギー消費量、(2) 系統電力の割合、(3) 再生可能エネルギーの割合	定性的	ギガジュール (GJ)、割合 (%)	HC-DR-130a.1

活動指標

活動指標	カテゴリー	測定単位	コード
薬局の店舗数	定量的	数字	HC-DR-000.A
店舗の総面積	定量的	m ²	HC-DR-000.B
処方箋記入件数、規制薬物の割合	定量的	数字、%	HC-DR-000.C
薬剤師の数	定量的	数字	HC-DR-000.D

Health Care Delivery (ヘルスケア・デリバリー*)

気候関連の開示項目と会計指標

トピック	会計指標	カテゴリー	測定単位	コード
エネルギー管理	(1) 総エネルギー消費量、(2) 系統電力の割合、(3) 再生可能エネルギーの割合	定量的	GJ、%	HC-DY-130a.1
廃棄物管理	医療廃棄物の総量、(a) 焼却、(b) リサイクル又は処理、(c) 埋め立ての割合	定量的	t	HC-DY-150a.1
	(1) 有害及び(2) 無害の医薬品廃棄物の総量、(a) 焼却、(b) リサイクル又は処理、(c) 埋め立ての割合	定量的	t、%	HC-DY-150a.2
気候変動による健康・インフラへの影響	以下に対処するための方針と実務の説明 (1) 異常気象の頻度と強度の物理的リスク、(2) 気候変動に伴う疾病の罹患率と死亡率の変化	議論・分析	n/a	HC-DY-450a.1
	メディケア・メディケイドサービスセンター (CMS) 緊急時対応規則に準拠した医療施設の割合	定量的	%	HC-DY-450a.2

活動指標

活動指標	カテゴリー	測定単位	コード
種類別の(1) 施設数及び(2) ベッド数	定量的	数字	HC-DY-000.A
(1) 入院患者数及び(2) 外来患者数	定量的	数字	HC-DY-000.B

* ヘルスケア・デリバリー業界

- 病院、クリニック、その他ヘルスケア関連施設を所有・管理する。
- 入院・外来治療、手術、メンタルヘルス、リハビリテーション、臨床検査サービス等、様々なサービスを提供する。

Health Care Distributors (ヘルスケア販売業*)

気候関連の開示項目と会計指標

トピック	会計指標	カテゴリー	測定単位	コード
燃料管理	燃費	定量的	ガロン、ショートトン、マイル	HC-DI-110a.1
	物流の環境負荷低減の取組に関する説明	議論・分析	n/a	HC-DI-110a.2

活動指標

活動指標	カテゴリー	測定単位	コード
製品カテゴリー別医薬品販売数	定量的	数字	HC-DI-000.A
製品カテゴリー別医療機器販売数	定量的	数字	HC-DI-000.B

*ヘルスケア販売業界

- 病院、薬局、医師向けに医薬品や医療機器を仕入れ、在庫を確保し、販売する。

Managed Care (マネージド・ケア*)

気候関連の開示項目と会計指標

トピック	会計指標	カテゴリー	測定単位	コード
気候変動による人々の健康への影響	気候変動が事業に及ぼす影響に対処するための戦略、及び、疾病の地理的な発生率、罹患率、死亡率の変化によってもたらされる特定のリスクがどのようにリスクモデルに組み込まれているかについての議論	議論・分析	n/a	HC-MC-450a.1

活動指標

活動指標	カテゴリー	測定単位	コード
プランタイプ別登録者数	定量的	数字	HC-MC-000.A

*マネージドケア業界

- マネージドケア業界は、個人、商業、メディケア、メディケイドの加入者に健康保険商品を提供する。
- また、自己資金保険プランの管理サービスやネットワークアクセスの提供、薬剤給付管理も行う。

Medical Equipment & Supplies (医療機器)

気候関連の開示項目と会計指標

トピック	会計指標	カテゴリー	測定単位	コード
製品デザイン及びライフサイクル管理	製品に含まれる化学物質に関連した環境及び健康への配慮を評価・管理し、持続可能な製品への需要に応えるためのプロセスに関する議論	議論・分析	n/a	HC-MS-410a.1
	引き取り、再利用、リサイクル、寄付された製品の総量 (内訳：(1)機器・装置、(2) 消耗品)	定量的	t	HC-MS-410a.2

活動指標

活動指標	カテゴリー	測定単位	コード
製品カテゴリー別販売数	定量的	数値	HC-MS-000.A

インフラセクター

Electric Utilities & Power Generators (電気事業・発電) (1)

気候関連の開示項目と会計指標

トピック	会計指標	カテゴリー	測定単位	コード
温室効果ガス 排出量及びエ ネルギー源計 画	(1) スcope1排出量 (2) 排出規制下におけるScope1排出量の割合 (3) 排出量報告義務下におけるScope1排出量の割合	定量的	t CO ₂ -e %	IF-EU-110a.1
	電力供給に伴う温室効果ガス排出量	定量的	t CO ₂ -e	IF-EU-110a.2
	Scope1排出量の短期・長期の管理戦略又は計画、排出削減目標、 上記目標に対する実績の分析	議論・分析	n/a	IF-EU-110a.3
	(1) RPS規制下市場の顧客数 (2) RPS規制下市場におけるRPS目標達成割合	定量的	数字、%	IF-EU-110a.4
水資源管理	(1) 総取水量、(2) 水総消費量、及びそれぞれにおける水スト レスが高い又は極めて高い地域の割合	定量的	1000m ³ 、%	IF-EU-140a.1
	取水・水質に係る法令等違反件数	定量的	数字	IF-EU-140a.2
	水資源管理のリスクの説明及びリスク緩和戦略・実務の議論	議論・分析	n/a	IF-EU-140a.3

Electric Utilities & Power Generators (電気事業・発電) (2)

気候関連の開示項目と会計指標

トピック	会計指標	カテゴリー	測定単位	コード
最終用途の効率と需要	(1) 販売電力収入のうちデカップリングの割合 (2) 販売電力収入のうち逸失売上補填 (LRAM) の割合	定量的	%	IF-EU-420a.1
	電力供給量 (MWh) のうち、スマートグリッドによる供給の割合	定量的	%	IF-EU-420a.2
	省エネの取り組みによる削減電力量 (市場別)	定量的	MWh	IF-EU-420a.3
原子力安全と危機管理	原子力発電機 (ユニット) 数の合計 (米国原子力規制委員会のアクションマトリックスコラムでの分類に基づく)	定量的	数字	IF-EU-540a.1
	原子力の安全管理・危機管理に関する説明	議論・分析	n/a	IF-EU-540a.2
系統強靱性	サイバーセキュリティ・物理リスクに関する規制の不遵守件数	定量的	数字	IF-EU-550a.1
	(1) 需要家1軒当たりの年間平均停電時間 (SAIDI) (2) 需要家1軒当たりの年間平均停電回数 (SAIFI) (3) 1回の停電が復旧するまでの平均時間 (CAIDI) (一定規模以上の災害による停電も含む)	定量的	分、数字	IF-EU-550a.2

Electric Utilities & Power Generators (電気事業・発電) (3)

活動指標

活動指標	カテゴリー	測定単位	コード
(1) 家庭用、(2) 業務用、(3) 産業用の顧客数	定量的	数字	IF-EU-000.A
(1) 家庭用、(2) 業務用、(3) 産業用、(4) その他、(5) 卸の顧客に対して供給した電力量の合計	定量的	MWh	IF-EU-000.B
送電線・配電線の長さ	定量的	km	IF-EU-000.C
全発電量、主要資源による発電割合、規制市場における発電割合	定量的	MWh、%	IF-EU-000.D
卸電力購入量	定量的	MWh	IF-EU-000.E

Engineering & Construction Services (エンジニアリング・建設サービス) (1)

気候関連の開示項目と会計指標

トピック	会計指標	カテゴリー	測定単位	コード
プロジェクト開発による環境への影響	環境に関する許可、基準、規制への不遵守件数	定量的	数字	IF-EN-160a.1
	プロジェクトの設計、立地、建設に関連する環境リスクを評価・管理するためのプロセスに関する議論	議論・分析	n/a	IF-EN-160a.2
構造上の安全性	欠陥や安全性に関する修正コストの金額	定量的	報告通貨	IF-EN-250a.1
	欠陥や安全性に関連する事故に関連した法的手続きの結果としての金銭的損失額	定量的	報告通貨	IF-EN-250a.2
建築物・インフラのライフサイクルへの影響	(1) 第三者による多属性サステナビリティ規格の認証を受けた受託プロジェクトの数、(2) そのような認証を求めているアクティブプロジェクトの数	定量的	数字	IF-EN-410a.1
	運用段階のエネルギー効率・水効率に関する考慮をプロジェクトの計画及び設計に組み込むためのプロセスの議論	議論・分析	n/a	IF-EN-410a.2
ビジネスミックスの気候への影響	(1) 炭化水素関連のプロジェクトの受注残額 (2) 再生可能エネルギー関連プロジェクトの受注残額	定量的	報告通貨	IF-EN-410b.1
	炭化水素関連プロジェクトに関連する受注残のキャンセル額	定量的	報告通貨	IF-EN-410b.2
	気候変動緩和に関連する非エネルギープロジェクトの受注残額	定量的	報告通貨	IF-EN-410b.3

(資料) IFRS TRWG "Climate-related Disclosures Prototype Supplement: Technical Protocols for Disclosure Requirements" から経済産業省仮訳

Engineering & Construction Services (エンジニアリング・建設サービス) (2)

活動指標

活動指標	カテゴリー	測定単位	コード
アクティブ・プロジェクトの数	定量的	数字	IF-EN-000.A
受託プロジェクトの数	定量的	数字	IF-EN-000.B
受注残合計	定量的	報告通貨	IF-EN-000.C

Gas Utilities & Distributors (ガス事業・配給)

気候関連の開示項目と会計指標

トピック	会計指標	カテゴリー	測定単位	コード
最終用途の効率	以下の料金体系によるガス事業の収益の割合 (1) 分離された料金体系 (2) 喪失売上補償メカニズム (LRAM) を含む料金体系	定量的	%	IF-GU-420a.1
	効率化施策により顧客が節約したガスの量 (市場別)	定量的	百万Btu	IF-GU-420a.2
ガス供給インフラの完全性	(1) 報告すべきパイプライン事故、(2) 是正措置命令 (CAO) 、 (3) 違反の可能性に関する通知 (NOPV) の件数	定量的	数字	IF-GU-540a.1
	(1) 鋳鉄および/または錬鉄、および (2) 保護されていない鋼製の パイプラインの割合	定量的	長さ別割合 (%)	IF-GU-540a.2
	検査が実施された (1) ガス輸送および (2) ガス流通パイプラインの 割合	定量的	長さ別割合 (%)	IF-GU-540a.3
	安全性および排出量に関するリスクを含む、ガス供給インフラの完全性 を管理するための取り組みに関する記述	議論・分析	n/a	IF-GU-540a.4

活動指標

活動指標	カテゴリー	測定単位	コード
(1) 家庭用、(2) 業務用、(3) 工業用 の顧客数	定量的	数字	IF-GU-000.A
(1) 家庭用、(2) 業務用、(3) 工業用、(4) 第三者への譲渡 の天然ガス供給量	定量的	百万Btu	IF-GU-000.B
(1) ガス輸送用パイプラインの長さ、(2) ガス供給用パイプラインの長さ	定量的	キロメートル	IF-GU-000.C

(資料) IFRS TRWG "Climate-related Disclosures Prototype Supplement: Technical Protocols for Disclosure Requirements" から経済産業省仮訳

Home Builders（住宅建設業）（1）

気候関連の開示項目と会計指標

トピック	会計指標	カテゴリー	測定単位	コード
土地利用及び生態系への影響	再開発用地における (1) 区画数、(2) 住宅引き渡し数	定量的	数字	IF-HB-160a.1
	水ストレスが高い、又は極めて高い地域における (1) 区画数、(2) 住宅引き渡し数	定量的	数字	IF-HB-160a.2
	環境規制に関連する法的手続きによる金銭的損失の合計額	定量的	報告通貨	IF-HB-160a.3
	環境配慮を用地の選定、設計、開発及び建設へ統合するプロセスの議論	議論・分析	n/a	IF-HB-160a.4
資源効率を考慮した設計	(1) HERS®インデックス・スコアの認証を受けた住宅数 (2) 平均スコア	定量的	数字 インデックス・スコア	IF-HB-410a.1
	WaterSense®の仕様に合致した水道設備の設置率	定量的	割合（%）	IF-HB-410a.2
	多属性のグリーンビルディング規格の第三者認証を受けた住宅の引き渡し数	定量的	数字	IF-HB-410a.3
	資源効率を住宅設計に取り入れることに関するリスクと機会の説明、及びその利点がどのように顧客に伝えられるかについての記述	議論・分析	n/a	IF-HB-410a.4
気候変動緩和	100年以内の洪水地域にある区画数	定量的	数字	IF-HB-420a.1
	気候変動リスクエクスポージャー分析、体系的なポートフォリオエクスポージャーの程度、及びリスク緩和戦略の説明	議論・分析	n/a	IF-HB-420a.2

Home Builders（住宅建設業）（2）

活動指標

活動指標	カテゴリー	測定単位	コード
管理区画数	定量的	数字	IF-HB-000.A
住宅引き渡し戸数	定量的	数字	IF-HB-000.B
アクティブな販売コミュニティ数	定量的	数字	IF-HB-000.C

Real Estate（不動産業）（1）

気候関連の開示項目と会計指標

トピック	会計指標	カテゴリー	測定単位	コード
エネルギーマネジメント	資産サブセクター毎の、総床面積の割合によるエネルギー消費データ計測範囲	定量的	床面積あたりの割合 (%)	IF-RE-130a.1
	資産サブセクター毎の、 (1) データ計測を行っているポートフォリオの総エネルギー消費量 (2) 系統電力の割合 (3) 再生可能エネルギーの割合	定量的	ギガジュール、 割合 (%)	IF-RE-130a.2
	資産サブセクター毎の、データ計測を行っているポートフォリオのエネルギー消費量の同一条件下での変化率	定量的	割合 (%)	IF-RE-130a.3
	資産サブセクター毎の、 (1) エネルギー格付けを取得した適格ポートフォリオの割合 (2) ENERGY STAR認証の取得した適格ポートフォリオの割合	定量的	床面積あたりの割合 (%)	IF-RE-130a.4
	建物のエネルギーマネジメントへの配慮が資産投資分析や事業戦略にどのように組み入れられているかについての説明	議論・分析	n/a	IF-RE-130a.5
水資源管理	資産サブセクター毎の、 (1) 総床面積の割合による取水データ計測範囲 (2) 水ストレスが高い、又は極めて高い地域の床面積の割合による取水データ計測範囲	定量的	床面積あたりの割合 (%)	IF-RE-140a.1
	資産サブセクター毎の、 (1) データ計測を行っているポートフォリオの総取水量 (2) 水ストレスが高い、又は極めて高い地域の割合	定量的	1000m ³ 、 割合 (%)	IF-RE-140a.2
	資産サブセクター毎の、データ計測を行っているポートフォリオの取水量の同一条件下での変化率	定量的	割合 (%)	IF-RE-140a.3
	水資源管理におけるリスクの議論、及びリスク低減に向けた戦略と取組に関する説明	議論・分析	n/a	IF-RE-140a.4

Real Estate（不動産業）（2）

気候関連の開示項目と会計指標

トピック	会計指標	カテゴリー	測定単位	コード
テナントのサステナビリティへの影響の管理	資産サブセクター毎の、 (1) 資源効率に関連する資本改善に対するコスト回収条項を含む新規リースの割合 (2) 関連リース床面積	定量的	床面積あたりの割合（%）、 スクエアフィート(ft ²)	IF-RE-410a.1
	資産サブセクター毎の、 (1) 系統電力消費を個別に、又はサブメーターで計測しているテナントの割合 (2) 取水を個別に、又はサブメーターで計測しているテナントの割合	定量的	床面積あたりの割合（%）	IF-RE-410a.2
	テナントのサステナビリティへの影響を測定、動機付け、改善するためのアプローチに関する議論	議論・分析	n/a	IF-RE-410a.3
気候変動適応	資産サブセクター毎の、100年以内の洪水地域にある資産の面積	定量的	スクエアフィート(ft ²)	IF-RE-450a.1
	気候変動リスクエクスポージャー分析、体系的ポートフォリオエクスポージャーの程度、及びリスク低減戦略に関する説明	議論・分析	n/a	IF-RE-450a.2

活動指標

活動指標	カテゴリー	測定単位	コード
資産サブセクター毎の資産数	定量的	数字	IF-RE-000.A
資産サブセクター毎の賃貸可能床面積	定量的	スクエアフィート(ft ²)	IF-RE-000.B
資産サブセクター毎の間接管理資産の割合	定量的	床面積当たりの割合（%）	IF-RE-000.B
資産サブセクター毎の平均占有率	定量的	割合（%）	IF-RE-000.B

（資料）IFRS TRWG“Climate-related Disclosures Prototype Supplement: Technical Protocols for Disclosure Requirements”から経済産業省仮訳

Real Estate Services (不動産サービス)

気候関連の開示項目と会計指標

トピック	会計指標	カテゴリ	測定単位	コード
サステナビリティ・サービス	エネルギー及びサステナビリティ・サービスによる収益	定量的	報告通貨	IF-RS-410a.1
	エネルギー及びサステナビリティ・サービスを備えた管理下にある (1) 床面積 (2) 建物数	定量的	スクエアフィート(ft ²)、 数字	IF-RS-410a.2
	エネルギーに関する認証を取得している管理下にある (1) 床面積 (2) 建物数	定量的	スクエアフィート(ft ²)、 数字	IF-RS-410a.3

活動指標

活動指標	カテゴリ	測定単位	コード
プロパティマネジメントの顧客数 (1) テナント別 (2) 不動産オーナー別	定量的	数字	IF-RS-000.A
所有者の運用管理下にある床面積	定量的	スクエアフィート(ft ²)	IF-RS-000.B
所有者の運用管理下にある建物数	定量的	数字	IF-RS-000.C
リース取引件数 (1) テナント別 (2) 不動産所有者別	定量的	数字	IF-RS-000.D

Waste Management (廃棄物管理)

気候関連の開示項目と会計指標

トピック	会計指標	カテゴリー	測定単位	コード
温室効果ガス 排出量	(1) スコープ1排出量 (2) 排出規制下におけるスコープ1排出量の割合 (3) 排出量報告義務下におけるスコープ1排出量の割合	定量的	トン (t) CO ₂ -e、 割合 (%)	IF-WM-110a.1
	(1) 埋め立てガス発生量 (2) 燃焼率 (3) エネルギー利用率	定量的		IF-WM-110a.2
	スコープ1及びライフサイクル排出量を管理するための長期・短期の戦略又は計画に関する議論、及びそれらの目標に対する実績の分析	議論・分析	n/a	IF-WM-110a.3
燃料管理	(1) 燃料消費量 (2) 天然ガス比率 (3) 再生可能エネルギー比率	定量的	ギガジュール (GJ)、 割合 (%)	IF-WM-110b.1
	代替燃料車の保有台数比率	定量的	割合 (%)	IF-WM-110b.2

活動指標

活動指標	カテゴリー	測定単位	コード
下記カテゴリー別の顧客数 (1) 自治体、(2) 商業、(3) 産業、(4) 住宅、(5) その他	定量的	数字	IF-WM-000.A
車両保有台数	定量的	数字	IF-WM-000.B
(1) 埋立地数、(2) 中継所数、(3) リサイクルセンター数 (4) 堆肥化センター数、(5) 焼却炉数、(6) その他全ての施設数	定量的	数字	IF-WM-000.C

(資料) IFRS TRWG“Climate-related Disclosures Prototype Supplement: Technical Protocols for Disclosure Requirements”から経済産業省仮訳

Water Utilities & Services (水事業・サービス) (1)

気候関連の開示項目と会計指標

トピック	会計指標	カテゴリー	測定単位	コード
エネルギー管理	(1) 総エネルギー消費量 (2) 系統電力の割合 (3) 再生可能エネルギーの割合	定量的	ギガジュール (GJ)、 割合 (%)	IF-WU-130a.1
流通ネットワークの効率性	水道管の交換率	定量的	割合	IF-WU-140a.1
	無収入の実質的な水損失の量	定量的	千m ³	IF-WU-140a.2
最終用途の効率正	保全と収益の回復を促進するように設計された料金体系による水道事業収益の割合	定量的	割合 (%)	IF-WU-420a.1
	市場別の、効率化施策による顧客の節水量	定量的	m ³	IF-WU-420a.2
水供給の回復力	水ストレスが高い、又は極めて高い地域からの総取水量、第三者からの購入割合	定量的	千m ³ 、割合 (%)	IF-WU-440a.1
	顧客に供給する再利用水の量	定量的	千m ³	IF-WU-440a.2
	水資源の質と入手可能性に関連するリスクを管理するための戦略の議論	議論・分析	n/a	IF-WU-440a.3

Water Utilities & Services (水事業・サービス) (2)

気候関連の開示項目と会計指標

トピック	会計指標	カテゴリー	測定単位	コード
ネットワークの回復力及び気候変動の影響	100年以内の洪水地域に位置する廃水処理能力	定量的	m ³ /日	IF-WU-450a.1
	汚水オーバーフロー (SSO) の (1) 件数 (2) 量 (3) 回収量の割合	定量的	数字、m ³ 、 割合 (%)	IF-WU-450a.2
	期間分類別の (1) 計画外のサービス停止の件数 (2) 影響を受けた顧客数	定量的	数字	IF-WU-450a.3
	気候変動が配水・廃水インフラに及ぼす影響に関するリスクと機会を特定・管理するための取り組みの説明	議論・分析	n/a	IF-WU-450a.4

活動指標

活動指標	カテゴリー	測定単位	コード
提供サービス別の (1) 家庭用顧客数、(2) 商業用顧客数、(3) 産業用顧客数	定量的	数字	IF-WU-000.A
総取水量、水源別の割合	定量的	m ³ 、割合 (%)	IF-WU-000.B
下記に提供された水の総量 (1) 家庭用、(2) 商業用、(3) 産業用、(4) その他全ての顧客	定量的	千m ³	IF-WU-000.C
下記別の一日当たり平均廃水処理量 (1) 汚水、(2) 雨水、(3) 合流式下水道別の一日当たり平均廃水処理量	定量的	m ³ /日	IF-WU-000.D
(1) 水道管の長さ、(2) 下水道管の長さ	定量的	km	IF-WU-000.E

(資料) IFRS TRWG "Climate-related Disclosures Prototype Supplement: Technical Protocols for Disclosure Requirements" から経済産業省仮訳

再生可能資源・代替エネルギーセクター

Biofuels (バイオ燃料)

気候関連の開示項目と会計指標

トピック	会計指標	カテゴリー	測定単位	コード
水管理	(1)水の総取水量、(2) ベースライン水ストレスが高い、または極めて高い地域における水消費量の割合	定量的	1,000立方メートル (m ³) 割合 (%)	RR-BI-140a.1
	水質に関する許認可、基準、規制に違反した件数	定量的	件数	RR-BI-140a.2
	水管理リスクの説明及びそれらリスクを緩和する戦略と慣行についての議論	議論及び分析	n/a	RR-BI-140a.3
ライフサイクル排出バランス	バイオ燃料型によるGHG排出量	定量的	メガジュール (MJ) あたりのCO ₂ eのグラム数	RR-BI-410a.1
原料調達と原料生産方法の環境負荷	原料生産に伴う環境影響に関連するリスク管理戦略の検討	議論及び分析	n/a	RR-BI-430a.1
	環境持続可能性基準の第三者認証を受けたバイオ燃料生産量の割合	定量的	ガロンに占める割合 (%)	RR-BI-430a.2
環境法規制の管理	国の制度による補助金の受領額	定量的	報告通貨	RR-BI-530a.1
	産業に影響を与える環境および社会的要因に対処するための政府の規制および／または政策提案に関する企業の立場の説明。	議論及び分析	n/a	RR-BI-530a.2

(資料) IFRS TRWG "Climate-related Disclosures Prototype Supplement: Technical Protocols for Disclosure Requirements" から経済産業省仮訳

Forestry Management (森林管理)

気候関連の開示項目と会計指標

トピック	会計指標	カテゴリー	測定単位	コード
エコシステムサービスと負荷	第三者による森林管理規格の認証を受けた森林の面積、各規格の認証取得率	定量的	エーカー (ac) 割合 (%)	RR-FM-160a.1
	保護されている森林の面積	定量的	エーカー (ac)	RR-FM-160a.2
	絶滅危惧種の生息地である森林の面積	定量的	エーカー (ac)	RR-FM-160a.3
	林地が提供する生態系サービスからの機会を最適化するためのアプローチの記述	議論及び分析	n/a	RR-FM-160a.4
気候変動への適応	気候変動による森林管理および木材生産の機会とリスクに対処するための戦略の記述	議論及び分析	n/a	RR-FM-450a.1

活動指標

活動指標	カテゴリー	測定単位	コード
事業者が所有、賃借、管理している森林の面積	定量的	エーカー (ac)	RR-FM-000.A
立木の総数	定量的	立法メートル (m ³)	RR-FM-000.B

(資料) IFRS TRWG "Climate-related Disclosures Prototype Supplement: Technical Protocols for Disclosure Requirements" から経済産業省仮訳

Fuel Cells & Industrial Batteries (燃料電池・産業用電池)

気候関連の開示項目と会計指標

トピック	会計指標	カテゴリー	測定単位	コード
エネルギー管理	(1)総電力消費量、(2)系統電力の割合、(3)再生可能エネルギーの割合	定量的	ギガジュール(GJ) 割合 (%)	RR-FC-130a.1
製品の効率性	電池の平均蓄電量：製品用途、技術タイプ別	定量的	特定エネルギー (Wh/kg)	RR-FC-410a.1
	燃料電池の平均エネルギー効率（①電気効率、②熱効率）：製品用途・技術タイプ別	定量的	割合 (%)	RR-FC-410a.2
	電池の平均効率（クーロン効率）：製品用途・技術タイプ別	定量的	割合 (%)	RR-FC-410a.3
	燃料電池の平均動作寿命：製品用途・技術タイプ別	定量的	時間 (h)	RR-FC-410a.4
	電池の平均寿命：製品用途・技術タイプ別	定量的	サイクルの数	RR-FC-410a.5

活動指標

活動指標	カテゴリー	測定単位	コード
販売台数	定量的	数	RR-FC-000.A
販売した電池の総記憶容量	定量的	メガワット (MW)	RR-FC-000.B

(資料) IFRS TRWG "Climate-related Disclosures Prototype Supplement: Technical Protocols for Disclosure Requirements" から経済産業省仮訳

Pulp & Paper Products (パルプ・紙製品)

気候関連の開示項目と会計指標

トピック	会計指標	カテゴリー	測定単位	コード
温室効果 ガスの排出	世界全体のScope1排出量	定量的	トン (t) CO ₂ -e	RR-PP-110a.1
	Scope 1 排出量の排出量を管理するための長期的および短期的な戦略または計画、排出量削減目標、およびそれらの目標に対するパフォーマンスの分析についての議論	議論及び 分析	n/a	RR-PP-110a.2
エネルギー 管理	(1)総エネルギー消費量、(2)系統電力の割合、(3)バイオマスの割合、(4)その他再生可能エネルギーの割合 (バイオマスのエネルギー利用に関するリスクと不確実性を議論すべき)	定量的	ギガジュール(GJ) 割合 (%)	RR-PP-130a.1
水管理	(1)水の総取水量、(2) ベースライン水ストレスが高い、または極めて高い地域における水消費量の割合	定量的	1,000立方メートル(m ³) 割合 (%)	RR-PP-140a.1
	水管理リスクの説明及びそれらリスクを緩和する戦略と慣行についての議論	議論及び 分析	n/a	RR-PP-140a.2
サプライ チェーン管 理	(1)第三者認証を受けた森林から調達した木材繊維の比率及びそれぞれの認証の割合、(2)その他の繊維調達基準それぞれの基準の割合 (森林またはその他の基準に照らしてみ認証の繊維に関する調査について議論すべき)	定量的	重量比の割合 (%)	RR-PP-430a.1
	リサイクル及び回収された繊維の調達量 (リサイクル及び回収された繊維とバージン繊維の調達に関して、環境ライフサイクル分析の活用について議論すべき)	定量的	トン (t)	RR-PP-430a.2

活動指標

活動指標	カテゴリー	測定単位	コード
パルプ生産量	定量的	空気乾燥トン (t)	RR-PP-000.A
紙生産量	定量的	空気乾燥トン (t)	RR-PP-000.B
木材繊維調達量 (エネルギー用途を除く)	定量的	トン (t)	RR-PP-000.C

Solar Technology & Project Developers (太陽光技術、プロジェクト・ディベロッパー)

気候関連の開示項目と会計指標

トピック	会計指標	カテゴリー	測定単位	コード
エネルギー管理	(1)総エネルギー消費量、(2)系統電力の割合、(3)再生可能エネルギーの割合	定量的	ギガジュール(GJ)割合 (%)	RR-ST-130a.1
水管理	(1)水の総取水量、(2) ベースライン水ストレスが高い、または極めて高い地域における水消費量の割合	定量的	1,000立方メートル(m ³)割合 (%)	RR-ST-140a.1
	水管理リスクの説明及びそれらリスクを緩和する戦略と慣行についての議論	議論及び分析	n/a	RR-ST-140a.2
エネルギーインフラの統合と関連法規制のマネジメント	既存のエネルギーインフラへの太陽光発電の統合に関連するリスクの説明と、それらのリスクを管理するための努力の議論	議論及び分析	n/a	RR-ST-410a.1
	エネルギー政策に関連するリスクと機会、および太陽光発電を既存のエネルギーインフラに統合する際の影響の説明	議論及び分析	n/a	RR-ST-410a.2

活動指標

活動指標	カテゴリー	測定単位	コード
太陽電池モジュール生産量の総計	定量的	メガワット (MW)	RR-ST-000.A
太陽光発電システム完成品の総容量	定量的	メガワット (MW)	RR-ST-000.B
プロジェクト開発資産合計	定量的	報告通貨	RR-ST-000.C

(資料) IFRS TRWG "Climate-related Disclosures Prototype Supplement: Technical Protocols for Disclosure Requirements" から経済産業省仮訳

Wind Technology & Project Developers (風力技術、プロジェクト・ディベロッパー)

気候関連の開示項目と会計指標

トピック	会計指標	カテゴリー	測定単位	コード
素材の効率性	消費された素材の上位 5 つ (重量ベース)	定量的	トン (t)	RR-WT-440b.1
	タービン容量あたりの平均トップヘッド質量 (風力発電機クラス別)	定量的	メガワットあたりのトン (t/MW)	RR-WT-440b.2
	風力発電機の設計における材料効率の最適化のためのアプローチについての説明	議論と分析	n/a	RR-WT-440b.3

活動指標

活動指標	カテゴリー	測定単位	コード
風力発電機納入台数 (風力発電機クラス別)	定量的	数	RR-WT-000.A
風力発電機クラス別、納入済み風力発電機の総容量	定量的	メガワット (MW)	RR-WT-000.B
タービン受注残量	定量的	報告通貨	RR-WT-000.C
タービンバックの総容量	定量的	メガワット (MW)	RR-WT-000.D

(資料) IFRS TRWG "Climate-related Disclosures Prototype Supplement: Technical Protocols for Disclosure Requirements" から経済産業省仮訳

資源轉換セクター

Aerospace & Defense (宇宙・防衛)

気候関連の開示項目と会計指標

トピック	会計指標	カテゴリー	測定単位	コード
エネルギー管理	(1)総電力消費量、(2)系統電力の割合、(3)再生可能エネルギーの割合	定量的	ギガジュール(GJ) 割合 (%)	RT-AE-130a.1
使用段階における燃費と排出量	代替エネルギー関連製品からの収益	定量的	報告通貨	RT-AE-410a.1
	製品の燃費および温室効果ガス (GHG) 排出量に対処するためのアプローチおよび戦略の説明と議論	議論と分析	n/a	RT-AE-410a.2

活動指標

活動指標	カテゴリー	測定単位	コード
報告セグメント別生産高	定量的	数	RT-AE-000.A
従業員数	定量的	数	RT-AE-000.B

(資料) IFRS TRWG "Climate-related Disclosures Prototype Supplement: Technical Protocols for Disclosure Requirements" から経済産業省仮訳

Chemicals (化学品)

気候関連の開示項目と会計指標

トピック	会計指標	カテゴリー	測定単位	コード
温室効果 ガスの排出	世界全体のScope 1 排出量 排出量制限規制の対象となる割合	定量的	トン (t) CO2-e 割合 (%)	RT-CH-110a.1
	Scope 1 排出量の排出量を管理するための長期的および短期的な 戦略または計画、排出量削減目標、およびそれらの目標に対するパ フォーマンスの分析についての議論	議論及び分析	n/a	RT-CH-110a.2
エネルギー 管理	(1)総エネルギー消費量、(2)系統電力の割合、(3)再生可能エネ ルギーの割合、(4)自家生産エネルギーの割合 (エネルギー消費削 減及び効率向上に関する取組について議論すべき)	定量的	ギガジュール(GJ) 割合 (%)	RT-CH-130a.1
水管理	(1)水の総取水量、(2) ベースライン水ストレスが高い、または極めて 高い地域における水消費量の割合	定量的	1,000立方メートル(m ³) 割合 (%)	RT-CH-140a.1
	水質に関する許認可、基準、規制に違反した件数	定量的	件数	RT-CH-140a.2
	水管理リスクの説明及びそれらリスクを緩和する戦略と慣行につい ての議論	議論及び分析	n/a	RT-CH-140a.3
利用時の 効率向上を もたらす製 品の設計	収入に占める利用時の効率向上をもたらすことを目的とした製品の 割合	定量的	通貨単位	RT-CH-410a.1

(資料) IFRS TRWG "Climate-related Disclosures Prototype Supplement: Technical Protocols for Disclosure Requirements" から経済産業省仮訳

Containers & Packaging (容器・包装)

気候関連の開示項目と会計指標

トピック	会計指標	カテゴリー	測定単位	コード
温室効果ガスの排出	世界全体のScope 1 排出量 排出量制限規制の対象となる割合	定量的	トン (t) CO2 排出量割合 (%)	RT-CP-110a.1
	Scope 1 排出量の排出量を管理するための長期的および短期的な戦略または計画、排出量削減目標、およびそれらの目標に対するパフォーマンスの分析についての議論	議論及び分析	n/a	RT-CP-110a.2
エネルギー管理	(1)総エネルギー消費量、(2)系統電力の割合、(3)再生可能エネルギーの割合、(4)自家生産エネルギーの割合 (エネルギー消費削減及び効率向上に関する取組について議論すべき)	定量的	ギガジュール(GJ) 割合 (%)	RT-CP-130a.1
水管理	(1)水の総取水量、(2) ベースライン水ストレスが高い、または極めて高い地域における水消費量の割合	定量的	1,000立方メートル(m ³) 割合 (%)	RT-CP-140a.1
	水管理リスクの説明及びそれらリスクを緩和する戦略と慣行についての議論	議論及び分析	n/a	RT-CP-140a.2
	水質に関する許認可、基準、規制に違反した件数	定量的	件数	RT-CP-140a.3
廃棄物管理	廃棄物生成量、有害廃棄物の割合、リサイクルされた割合	定量的	トン(t)、割合 (%)	RT-CP-150a.1
サプライチェーンマネジメント	調達した木質繊維の総量、認証された供給源からの割合	定量的	トン(t)、割合 (%)	RT-CP-430a.1
	アルミニウムの総購入量、認証取得国からの比率	定量的	トン(t)、割合 (%)	RT-CP-430a.2

活動指標

活動指標	カテゴリー	測定単位	コード
生産量 (基板別)	定量的	トン(t)	RT-CP-000.A
生産高に占める割合(1)紙・木、(2)ガラス、(3)金属、(4)プラスチック	定量的	収益に占める割合 (%)	RT-CP-000.B
従業員数	定量的	数	RT-CP-000.C

Electrical & Electronic Equipment (電気・電子機器)

気候関連の開示項目と会計指標

トピック	会計指標	カテゴリー	測定単位	コード
エネルギー管理	(1)総エネルギー消費量、(2)系統電力の割合、(3)再生可能エネルギーの割合	定量的	ギガジュール(GJ)割合 (%)	RT-EE-130a.1
製品のライフサイクルマネジメント	IEC62474の要申告物質を含む製品の売上に占める割合	定量的	売上に占める割合 (%)	RT-EE-410a.1
	ENERGY STAR® 基準を満たす対象製品の売上に占める割合	定量的	売上に占める割合 (%)	RT-EE-410a.2
	再生可能エネルギー関連製品およびエネルギー効率関連製品の売上	定量的	売上に占める割合 (%)	RT-EE-410a.3

活動指標

活動指標	カテゴリー	測定単位	コード
製品カテゴリー別の生産台数 (発電、配電、照明、室内空調等)	定量的	数	RT-EE-000.A
従業員数	定量的	数	RT-EE-000.B

(資料) IFRS TRWG "Climate-related Disclosures Prototype Supplement: Technical Protocols for Disclosure Requirements" から経済産業省仮訳

Industrial Machinery & Goods (産業機械・製品)

気候関連の開示項目と会計指標

トピック	会計指標	カテゴリー	測定単位	コード
エネルギー管理	(1)総電力消費量、(2)系統電力の割合、(3)再生可能エネルギーの割合	定量的	ギガジュール(GJ) 割合 (%)	RT-IG-130a.1
使用段階における燃費と排出量	中型車・大型車の売上高加重フリート燃費	定量的	ガロン/1000トンマイル	RT-IG-410a.1
	ノンロード機器の売上高加重燃費	定量的	ガロン/時間	RT-IG-410a.2
	定置用発電機の売上高加重燃費	定量的	ワット/ガロン	RT-IG-410a.3
	(1)窒素酸化物 (NOx) および (2) 粒子状物質 (PM) の売上高加重排出量。 (a) 船用ディーゼルエンジン (b) 機関車用ディーゼルエンジン (c) オンロード中型・大型エンジン (d) その他の非道路用ディーゼルエンジン	定量的	グラム/毎時キロワット	RT-IG-410a.4

活動指標

活動指標	カテゴリー	測定単位	コード
製品カテゴリー別生産台数	定量的	数	RT-IG-000.A
従業員数	定量的	数	RT-IG-000.B

(資料) IFRS TRWG "Climate-related Disclosures Prototype Supplement: Technical Protocols for Disclosure Requirements" から経済産業省仮訳

サービスセクター

Casinos & Gaming (カジノ・ゲーミング)

気候関連の開示項目と会計指標

トピック	会計指標	カテゴリ	測定単位	コード
エネルギー管理	(1)総電力消費量、(2)系統電力の割合、(3)再生可能エネルギーの割合	定量的	ギガジュール(GJ) 割合 (%)	SV-CA-130a.1

活動指標

活動指標	カテゴリ	測定単位	コード
テーブルの数	定量的	数	SV-CA-000.A
スロットの数	定量的	数	SV-CA-000.B
オンラインゲームのアクティブな顧客数	定量的	数	SV-CA-000.C
ゲームフロアの面積	定量的	平方メートル (m ²)	SV-CA-000.D

(資料) IFRS TRWG "Climate-related Disclosures Prototype Supplement: Technical Protocols for Disclosure Requirements" から経済産業省仮訳

Hotels & Lodging (ホテル・宿泊)

気候関連の開示項目と会計指標

トピック	会計指標	カテゴリー	測定単位	コード
エネルギー管理	(1)総電力消費量、(2)系統電力の割合、(3)再生可能エネルギーの割合	定量的	ギガジュール(GJ) 割合 (%)	SV-HL-130a.1
水管理	(1)水の総取水量、(2) ベースライン水ストレスが高い、または極めて高い地域における水消費量の割合	定量的	1,000立方メートル(m ³) 割合 (%)	SV-HL-140a.1
気候変動の適応	100年のうちに洪水の発生が想定される区域にある宿泊施設の数	定量的	数	SV-HL-450a.1

活動指標

活動指標	カテゴリー	測定単位	コード
宿泊可能日数	定量的	数	SV-HL-000.A
平均稼働率	定量的	率	SV-HL-000.B
宿泊施設総面積	定量的	平方メートル (m ²)	SV-HL-000.C
宿泊施設の数およびその割合 : (1)管理、(2)所有と賃貸、(3)フランチャイズ	定量的	数、割合 (%)	SV-HL-000.D

(資料) IFRS TRWG "Climate-related Disclosures Prototype Supplement: Technical Protocols for Disclosure Requirements" から経済産業省仮訳

Leisure Facilities (レジャー施設)

気候関連の開示項目と会計指標

トピック	会計指標	カテゴリー	測定単位	コード
エネルギー管理	(1)総電力消費量、(2)系統電力の割合、(3)再生可能エネルギーの割合	定量的	ギガジュール(GJ) 割合 (%)	SV-LF-130a.1

活動指標

活動指標	カテゴリー	測定単位	コード
入場者数	定量的	数	SV-LF-000.A
開園日数	定量的	数	SV-LF-000.B

(資料) IFRS TRWG "Climate-related Disclosures Prototype Supplement: Technical Protocols for Disclosure Requirements" から経済産業省仮訳

技術・通信セクター

Electronic Manufacturing Services & Original Design Manufacturing (EMS・ODM)

気候関連の開示項目と会計指標

トピック	会計指標	カテゴリー	測定単位	コード
水管理	(1)水の総取水量、(2) ベースライン水ストレスが高い、または極めて高い地域における水消費量の割合	定量的	1,000立方メートル(m ³) 割合 (%)	TC-ES-140a.1
製品のライフサイクル マネジメント	使用済み製品の重量、回収率、リサイクル率	定量的	トン (t) 割合 (%)	TC-ES-410a.1

活動指標

活動指標	カテゴリー	測定単位	コード
製造施設の数	定量的	数	TC-ES-000.A
製造施設の面積	定量的	平方フィート (ft ²)	TC-ES-000.B
従業員の数	定量的	数	TC-ES-000.C

(資料) IFRS TRWG "Climate-related Disclosures Prototype Supplement: Technical Protocols for Disclosure Requirements" から経済産業省仮訳

Hardware (ハードウェア)

気候関連の開示項目と会計指標

トピック	会計指標	カテゴリー	測定単位	コード
製品のライフサイクルマネジメント	IEC62474の要申告物質を含む製品の売上高に占める割合	定量的	割合 (%)	TC-HW-410a.1
	EPEATの登録要件または同等の要件を満たす対象製品の売上高に占める割合	定量的	割合 (%)	TC-HW-410a.2
	エネルギースター基準を満たす製品の売上高に占める割合	定量的	割合 (%)	TC-HW-410a.3
	使用済み製品およびE-wasteの回収重量、再資源化率	定量的	トン (t) 、割合 (%)	TC-HW-410a.4

活動指標

活動指標	カテゴリー	測定単位	コード
製品カテゴリー別生産台数	定量的	数	TC-HW-000.A
製造施設の面積	定量的	平方フィート (ft ²)	TC-HW-000.B
自社設備による生産比率	定量的	割合 (%)	TC-HW-000.C

(資料) IFRS TRWG "Climate-related Disclosures Prototype Supplement: Technical Protocols for Disclosure Requirements" から経済産業省仮訳

Internet Media & Service (インターネット・メディア&サービス)

気候関連の開示項目と会計指標

トピック	会計指標	カテゴリー	測定単位	コード
ハードウェア インフラの環境 フットプリント	(1)総電力消費量、(2)系統電力の割合、(3)再生可能エネルギーの割合	定量的	ギガジュール(GJ) 割合 (%)	TC-IM-130a.1
	(1)水の総取水量、(2) ベースライン水ストレスが高い、または極めて高い地域における水消費量の割合	定量的	1,000立方メートル(m ³) 割合 (%)	TC-IM-130a.2
	データセンターのニーズに対する戦略的計画の中に、環境配慮を結合するための議論	議論及び分析	n/a	TC-IM-130a.3

活動指標

活動指標	カテゴリー	測定単位	コード
ユーザ活動の主体的な定義づけの指標	定量的	注釈参照	TC-IM-000.A
(1)データ処理能力、(2)外部委託率	定量的	注釈参照	TC-IM-000.B
(1)データ保存量、(2)外部委託率	定量的	ペタバイト 割合 (%)	TC-IM-000.C

(資料) IFRS TRWG "Climate-related Disclosures Prototype Supplement: Technical Protocols for Disclosure Requirements" から経済産業省仮訳

Semiconductors (半導体)

気候関連の開示項目と会計指標

トピック	会計指標	カテゴリー	測定単位	コード
温室効果ガスの排出	(1)世界全体のScope 1 排出量 (2)ペイフルオロカーボン化合物からの総排出量	定量的	トン (t) CO ₂ -e	TC-SC-110a.1
	Scope 1 排出量の排出量を管理するための長期的および短期的な戦略または計画、排出量削減目標、およびそれらの目標に対するパフォーマンスの分析についての議論	議論及び分析	n/a	TC-SC-110a.2
エネルギー管理	(1)総電力消費量、(2)系統電力の割合、(3)再生可能エネルギーの割合	定量的	ギガジュール(GJ) 割合 (%)	TC-SC-130a.1
水管理	(1)水の総取水量、(2) ベースライン水ストレスが高い、または極めて高い地域における水消費量の割合	定量的	1,000立方メートル(m ³) 割合 (%)	TC-SC-140a.1
製品ライフサイクル管理	IEC 62474の申告対象物質を含む製品の売上高に占める割合。	定量的	売上に占める割合 (%)	TC-SC-410a.1
	システムレベルでのプロセッサのエネルギー効率 (1) サーバー、(2) デスクトップ、(3) ノートパソコン	定量的	製品のカテゴリーによってそれぞれ	TC-SC-410a.2

活動指標

活動指標	カテゴリー	測定単位	コード
総生産量	定量的	注釈参照	TC-SC-000.A
所有する施設における生産量の割合	定量的	割合 (%)	TC-SC-000.B

(資料) IFRS TRWG "Climate-related Disclosures Prototype Supplement: Technical Protocols for Disclosure Requirements" から経済産業省仮訳

Software & IT Services (ソフトウェア・ITサービス)

気候関連の開示項目と会計指標

トピック	会計指標	カテゴリ	測定単位	コード
ハードウェアインフラの 環境フットプリント	(1)総電力消費量、(2)系統電力の割合、(3)再生可能エネルギーの割合	定量的	—	TC-SI-130a.1
	(1)水の総取水量、(2) ベースライン水ストレスが高い、または極めて高い地域における水消費量の割合	定量的	—	TC-SI-130a.2
	データセンターのニーズに対する戦略的計画の中に、環境配慮を結合するための議論	議論及び分析	—	TC-SI-130a.3
技術的中断によるシ ステムリスク管理	(1)パフォーマンス問題、(2)サービス中断、(3)総顧客ダウンタイムの件数	定量的	—	TC-SI-550a.1
	業務中断に関連する事業継続リスクの説明	議論及び分析	—	TC-SI-550a.2

活動指標

活動指標	カテゴリ	測定単位	コード
(1)ライセンス数またはサブスクリプション数、(2)クラウド型比率	定量的	数、割合 (%)	TC-SI-000.A
(1)データ処理能力、(2)アウトソーシングの割合	定量的	注釈参照	TC-SI-000.B

(資料) IFRS TRWG "Climate-related Disclosures Prototype Supplement: Technical Protocols for Disclosure Requirements" から経済産業省仮訳

Telecommunication Services (テレコミュニケーションサービス)

気候関連の開示項目と会計指標

トピック	会計指標	カテゴリー	測定単位	コード
ハードウェアインフラの環境フットプリント	(1)総電力消費量、(2)系統電力の割合、(3)再生可能エネルギーの割合	定量的	ギガジュール (GJ) 割合 (%)	TC-TL-130a.1
技術的中断によるシステムリスク管理	(1)システム平均中断頻度、(2)顧客の平均中断時間	定量的	顧客あたりの中断、顧客当たりの時間	TC-TL-550a.1
	サービス中断時に支障のないサービスを提供するためのシステムの検討	議論及び分析	n/a	TC-TL-550a.2

活動指標

活動指標	カテゴリー	測定単位	コード
無線契約者数	定量的	数	TC-TL-000.A
有線契約者数	定量的	数	TC-TL-000.B
ブロードバンド加入者数	定量的	数	TC-TL-000.C
ネットワークトラフィック	定量的	ペタバイト	TC-TL-000.D

(資料) IFRS TRWG "Climate-related Disclosures Prototype Supplement: Technical Protocols for Disclosure Requirements" から経済産業省仮訳

運輸セクター

Air Freight & Logistics (航空輸送・ロジステックス)

気候関連の開示項目と会計指標

トピック	会計指標	カテゴリー	測定単位	コード
温室効果 ガスの排出	世界全体のScope 1 排出量	定量的	トン (t) CO2-e	TR-AF-110a.1
	Scope 1 排出量の排出量を管理するための長期的および短期的な戦略または計画、排出量削減目標、およびそれらの目標に対するパフォーマンスの分析についての議論	議論及び分析	n/a	TR-AF-110a.2
	燃料消費量 (1)道路輸送：割合(a)天然ガス、(b) 再生可能エネルギー (2)航空輸送：割合(a)代替エネルギー、(b)持続可能エネルギー	定量的	ギガジュール (GJ) 割合 (%)	TR-AF-110a.3
サプライ チェーンマネ ジメント	輸送手段別の温室効果ガス (GHG) 総排出量	定量的	トン (t)、トンキロメートルあ たりのCO2-e	TR-AF-430a.2

活動指標

活動指標	カテゴリー	測定単位	コード
有償トンキロ (Revenue ton kilometers) ： (1) 道路輸送、(2) 航空輸送	定量的	RTK	TR-AF-000.A
貨物搭載率 (Load factor) ： (1) 道路輸送、(2)航空輸送	定量的	率	TR-AF-000.B
従業員数、トラック運転手数	定量的	数	TR-AF-000.C

(資料) IFRS TRWG "Climate-related Disclosures Prototype Supplement: Technical Protocols for Disclosure Requirements" から経済産業省仮訳

Airlines (航空)

気候関連の開示項目と会計指標

トピック	会計指標	カテゴリー	測定単位	コード
温室効果ガスの排出	世界全体のScope 1 排出量	定量的	トン (t) CO2 排出量割合 (%)	TR-AL-110a.1
	Scope 1 排出量の排出量を管理するための長期的および短期的な戦略または計画、排出量削減目標、およびそれらの目標に対するパフォーマンスの分析についての議論	議論及び分析	n/a	TR-AL-110a.2
	(1)総燃料消費量、(2)代替エネルギーの割合、(3)持続可能なエネルギーの割合	定量的	ギガジュール (GJ) 割合 (%)	TR-AL-110a.3

活動指標

活動指標	カテゴリー	測定単位	コード
有効座席キロメートル (Available seat kilometers)	定量的	ASK	TR-AL-000.A
旅客搭乗率 (Passenger load factor)	定量的	率	TR-AL-000.B
有償旅客キロ (Revenue passenger kilometers)	定量的	RPK	TR-AL-000.C
有償トンキロ (Revenue ton kilometers)	定量的	RTK	TR-AL-000.D

(資料) IFRS TRWG "Climate-related Disclosures Prototype Supplement: Technical Protocols for Disclosure Requirements" から経済産業省仮訳

Auto Parts（自動車部品）

気候関連の開示項目と会計指標

トピック	会計指標	カテゴリー	測定単位	コード
エネルギー管理	(1)総エネルギー消費量、(2)系統電力の割合、(3)再生可能エネルギーの割合	定量的	ギガジュール(GJ)割合 (%)	TR-AP-130a.1
燃費の設計	燃費向上や排出ガス削減を目的とした製品からの収益	定量的	報告通貨	TR-AP-410a.1

活動指標

活動指標	カテゴリー	測定単位	コード
部品の生産数	定量的	数	TR-AP-000.A
生産した部品の重量	定量的	トン (t)	TR-AP-000.B
製造工場の面積	定量的	平方メートル (㎡)	TR-AP-000.C

(資料) IFRS TRWG "Climate-related Disclosures Prototype Supplement: Technical Protocols for Disclosure Requirements" から経済産業省仮訳

Automobiles（自動車）

気候関連の開示項目と会計指標

トピック	会計指標	カテゴリー	測定単位	コード
燃費と使用段階	地域別の売上で加重平均した燃費性能	定量的	Mpg L/km gCO2/km Km/L	TR-AU-410a.1
	(1)ゼロ・エミッション車（ZEV）、(2)ハイブリッド車、(3)プラグイン・ハイブリッド車の販売台数	定量的	数	TR-AU-410a.2
	車両の燃費および排出ガスのリスクと機会を管理するための戦略の検討 検討と分析	議論及び分析	n/a	TR-AU-410a.3

活動指標

活動指標	カテゴリー	測定単位	コード
自動車の製造台数	定量的	数	TR-AU-000.A
自動車の販売台数	定量的	数	TR-AU-000.B

(資料) IFRS TRWG "Climate-related Disclosures Prototype Supplement: Technical Protocols for Disclosure Requirements" から経済産業省仮訳

Car Rental & Leasing（自動車レンタル・リース）

気候関連の開示項目と会計指標

トピック	会計指標	カテゴリー	測定単位	コード
フリーと燃料燃費、利用率	地域別のレンタル車両燃費の日間加重平均値	定量的	Mpg L/km gCO2/km Km/L	TR-CR-410a.1
	車両稼働率	定量的	率	TR-CR-410a.2

活動指標

活動指標	カテゴリー	測定単位	コード
平均社齡	定量的	月	TR-CR-000.A
総貸出可能日数	定量的	日	TR-CR-000.B
平均レンタル台数	定量的	車数	TR-CR-000.C

（資料）IFRS TRWG “Climate-related Disclosures Prototype Supplement: Technical Protocols for Disclosure Requirements” から経済産業省仮訳

Cruise Lines (クルーズ船)

気候関連の開示項目と会計指標

トピック	会計指標	カテゴリー	測定単位	コード
温室効果ガスの排出	世界全体のScope 1 排出量	定量的	トン (t) CO ₂ -e	TR-CL-110a.1
	Scope 1 排出量の排出量を管理するための長期的および短期的な戦略または計画、排出量削減目標、およびそれらの目標に対するパフォーマンスの分析についての議論	議論及び分析	n/a	TR-CL-110a.2
	(1)総エネルギー消費量、(2)重油の割合、(3)陸上電力供給の割合、(4)再生可能エネルギーの割合	定量的	ギガジュール (GJ) 割合 (%)	TR-CL-110a.3
	新造船の平均エネルギー効率設計指数 (EEDI)	定量的	CO ₂ のグラム(g)/トン(t)・海里 (nm)	TR-CL-110a.4

活動指標

活動指標	カテゴリー	測定単位	コード
旅客輸送容量 (Available lower berth kilometers)	定量的	ALB-KM	TR-CL-000.A
平均旅客運航日数	定量的	APCD	TR-CL-000.B
船舶従業員数	定量的	数	TR-CL-000.C
クルーズ船乗客者数	定量的	数	TR-CL-000.D
船舶の寄港回数	定量的	数	TR-CL-000.E

(資料) IFRS TRWG "Climate-related Disclosures Prototype Supplement: Technical Protocols for Disclosure Requirements" から経済産業省仮訳

Marine Transportation (海運)

気候関連の開示項目と会計指標

トピック	会計指標	カテゴリー	測定単位	コード
温室効果ガスの排出	世界全体のScope 1 排出量	定量的	トン (t) CO ₂ -e	TR-MT-110a.1
	Scope 1 排出量の排出量を管理するための長期的および短期的な戦略または計画、排出量削減目標、およびそれらの目標に対するパフォーマンスの分析についての議論	議論及び分析	n/a	TR-MT-110a.2
	(1)総エネルギー消費量、(2)重油の割合、(3)陸上電力供給の割合、(4)再生可能エネルギーの割合	定量的	ギガジュール (GJ) 割合 (%)	TR-MT-110a.3
	新造船の平均エネルギー効率設計指数 (EEDI)	定量的	CO ₂ のグラム(g)/トン(t)・海里(nm)	TR-MT-110a.4

活動指標

活動指標	カテゴリー	測定単位	コード
船舶従業員数	定量的	数	TR-MT-000.A
船舶の総走行距離	定量的	海里 (nm)	TR-MT-000.B
営業日数	定量的	数	TR-MT-000.C
載貨重量トン数	定量的	千載貨重量トン	TR-MT-000.D
全船舶数	定量的	数	TR-MT-000.E
船舶の寄港回数	定量的	数	TR-MT-000.F
20フィート換算単位(TEU)の容量	定量的	TEU	TR-MT-000.G

Rail Transportation (鉄道輸送)

気候関連の開示項目と会計指標

トピック	会計指標	カテゴリー	測定単位	コード
温室効果ガスの排出	世界全体のScope 1 排出量	定量的	トン (t) CO2 排出量割合 (%)	TR-RA-110a.1
	Scope 1 排出量の排出量を管理するための長期的および短期的な戦略または計画、排出量削減目標、およびそれらの目標に対するパフォーマンスの分析についての議論	議論及び分析	n/a	TR-RA-110a.2
	総燃料消費量、再生可能エネルギー割合	定量的	ギガジュール (GJ) 割合 (%)	TR-RA-110a.3

活動指標

活動指標	カテゴリー	測定単位	コード
自動車輸送台数	定量的	数	TR-RA-000.A
インターモーダル輸送台数	定量的	数	TR-RA-000.B
走行距離	定量的	マイルズ	TR-RA-000.C
レベニュー・トン・マイルズ (Revenue ton miles)	定量的	RTM	TR-RA-000.D
従業員数	定量的	数	TR-RA-000.E

(資料) IFRS TRWG "Climate-related Disclosures Prototype Supplement: Technical Protocols for Disclosure Requirements" から経済産業省仮訳

Road Transportation (道路輸送)

気候関連の開示項目と会計指標

トピック	会計指標	カテゴリー	測定単位	コード
温室効果ガスの排出	世界全体のScope 1 排出量	定量的	トン (t) CO2 排出量割合 (%)	TR-RO-110a.1
	Scope 1 排出量の排出量を管理するための長期的および短期的な戦略または計画、排出量削減目標、およびそれらの目標に対するパフォーマンスの分析についての議論	議論及び分析	n/a	TR-RO-110a.2
	(1)総燃料消費量、(2)天然ガスの割合、(3)再生可能エネルギーの割合	定量的	ギガジュール(GJ) 割合 (%)	TR-RO-110a.3

活動指標

活動指標	カテゴリー	測定単位	コード
レベニュー・トン・マイルズ (Revenue ton miles)	定量的	RTM	TR-RO-000.A
貨物搭載率 (load factor)	定量的	数	TR-RO-000.B
従業員数、ドライバーの数	定量的	数	TR-RO-000.C

(資料) IFRS TRWG "Climate-related Disclosures Prototype Supplement: Technical Protocols for Disclosure Requirements" から経済産業省仮訳